

# 工事成績評定表

(土木工事編)

平成 30 年 4 月 1 日 制定

# 工 事 成 績 採 点 表

考査項目		監督員					監督員上司					検査員(指定部分完了)					検査員(完了)										
項目	細別	a	b	c	d	e	a	a'	b	b'	c	d	e	a	a'	b	b'	c	d	e	a	a'	b	b'	c	d	e
1.施工体制	I 施工体制一般	+1.0	+0.5	0	-5.0	-10																					
	II 配置技術者	+3.0	+1.5	0	-5.0	-10																					
2.施工状況	I 施工管理	+4.0	+2.0	0	-5.0	-10								+5.0		+2.5		0	-7.5	-15	+5.0		+2.5		0	-7.5	-15
	II 工程管理	+4.0	+2.0	0	-5.0	-10	+2.0		+1.0		0	-7.5	-15														
	III 安全対策	+5.0	+2.5	0	-5.0	-10	+3.0		+1.5		0	-7.5	-15														
	IV 対外関係	+2.0	+1.0	0	-2.5	-5.0																					
3.出来形 及び 出来ばえ	I 出来形	+4.0	+2.0	0	-2.5	-5.0								+10	+7.5	+5.0	+2.5	0	-10	-20	+10	+7.5	+5.0	+2.5	0	-10	-20
	II 品質	+5.0	+2.5	0	-2.5	-5.0								+15	+12	+7.5	+4.0	0	-12.5	-25	+15	+12	+7.5	+4.0	0	-12.5	-25
	III 出来ばえ													+5.0		+2.5		0	-5.0		+5.0		+2.5		0	-5.0	
4.工事特性	I 施工条件等への対応 ※2						+20 ~ 0																				
5.創意工夫	I 創意工夫 ※3	+7.0 ~ 0																									
6.社会性等	I 地域への貢献等						+10	+7.5	+5.0	+2.5	0																
加減点合計(1+2+3+4+5+6)		点					点					点					点										
評定点(65点±加減点合計) ※1		① 点					② 点					③ 点					④ 点										
評定点計		点					○指定部分完了検査があった場合:①×0.4+②×0.2+③×0.2×④×0.2 ※ただし、③(指定部分完了)が2回以上の場合は平均値 ○指定部分完了検査がなかった場合:①×0.4+②×0.2+④×0.4																				
7.法令遵守等 ※5							点																				
評定点合計 ※7							点					○ 評定点計 ( 点 ) + 7.法令遵守等 ( 点 ) =					点										

※1 65点±加減点合計(1+2+3+4+5+6)とする。各評定点(①~④)は小数点第1位まで記入する。

※2 工事特性は、当該工事特有の難度の高い条件(構造物の特殊性、特殊な技術、都市部等の作業環境・社会条件、厳しい自然・地盤条件、長期工事における安全確保等)に対して適切に対応したことを評価する項目である。

※3 創意工夫は、企業の工夫やノウハウにより特筆すべき評価内容があった場合に評価する項目である。

※4 4.5,6 は加点点評価のみとする。また、法令遵守は、減点評価のみとする。

※5 法令遵守等の評価は減点評価のみとし、評価は監督員上司が行う。

※6 評定点合計は、四捨五入により整数とする。

※7 総合評価技術提案不履行の場合、法令遵守等で減点する。

工事成績採点表の考査項目の考査項目別運用表(土木工事編)

[記入方法]該当項目を「■」にする。

(監督員)

考査項目	細別	対象項目	評価項目	評価対象項目	評価方法
1.施工体制	I.施工体制一般	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	1. 施工計画書を工事着手前に提出している。	評価値(%)=評価項目数/対象項目数  対象項目が2項目以下……c 評価値が90%以上……a 評価値が80～90%未満……b 評価値が60～80%未満……c 評価値が60%未満……d
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	2. 作業分担の範囲を、施工体制台帳及び施工体系図に明確に記載している。		
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	3. 品質証明に係る体制が有効に機能している。(※品質証明員の任命、品質マネジメントシステムの導入などによる)			
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	4. 受注者が下請の作業成果を確認している。			
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	5. 施工計画書の内容と現場施工方法が一致している。			
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	6. 緊急指示、災害、事故等が発生した場合の対応が速やかである。(※事故・災害がなければ対象としない)			
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	7. 現場に対する本店や支店による支援体制を整えている。			
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	8. 工場製作期間における技術者を適切に配置している。(※工場製作品があるものを対象)			
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	9. 機械設備、電気設備等について、製作工場における社内検査体制(規格値の設定や確認方法)を整えている。			
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	10. 施工プロセスのチェックリストで、指示事項が無い。			
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	11. その他 理由:( )			
		<input type="checkbox"/>		d. 施工体制一般に関して、監督員が文書による改善指示を行った。	左記該当……d
		<input type="checkbox"/>		e. 施工体制一般に関して、監督員からの文書による改善指示に従わなかった。	左記該当……e
	II.配置技術者 (現場代理人等)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	【全体を評価する項目】	評価値(%)=評価項目数/対象項目数  対象項目が2項目以下……c 評価値が90%以上……a 評価値が80～90%未満……b 評価値が60～80%未満……c 評価値が60%未満……d
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	1. 作業に必要な作業主任者及び専門技術者を選任及び配置している。	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	2. 施工プロセスのチェックリストで、指示事項が無い。	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	【現場代理人を評価する項目】	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	3. 現場代理人が、工事全体を把握している。	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	4. 設計図書と現場との相違があった場合は、監督員と協議するなどの必要な対応を行っている。	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	5. 監督員への報告を適時及び的確に行っている。	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	【監理(主任)技術者を評価する項目】	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	6. 書類を標準仕様書及び諸基準に基づき適切に作成し、整理している。	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	7. 契約書、設計図書、摘要すべき諸基準を理解し、施工に反映している。	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	8. 施工上の課題となる条件(作業環境、気象、地質等)への対応を図っている。	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	9. 下請の施工体制及び施工状況を把握し、技術的な指導を行っている。	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	10. 監理(主任)技術者が、明確な根拠に基づいて技術的な判断を行っている。	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	11. その他 理由:( )	
		<input type="checkbox"/>		d. 配置技術者に関して、監督員が文書による改善指示を行った。	左記該当……d
		<input type="checkbox"/>		e. 配置技術者に関して、監督員からの文書による改善指示に従わなかった。	左記該当……e

工事成績採点表の考査項目の考査項目別運用表(土木工事編)

[記入方法]該当項目を「■」にする。

(監督員)

考査項目	細別	対象項目	評価項目	評価対象項目	評価方法
2.施工状況	I. 施工管理	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	1. 施工計画書が、設計図書及び現場条件を反映したものとなっている。	評価値(%)=評価項目数/対象項目数  対象項目が2項目以下……c 評価値が90%以上……a 評価値が80~90%未満……b 評価値が60~80%未満……c 評価値が60%未満……d
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	2. 現場条件の変化に対して、適切に対応している。	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	3. 工事材料を品質に影響が無いよう保管している。		
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	4. 日常の出来形管理を、設計図書及び施工計画書に基づき適時及び的確に行っている。		
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	5. 日常の品質管理を設計図書・施工計画書に基づき適時及び的確に行っている。		
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	6. 品質管理図表及び度数表が作成され、適切である。(※測定数が15点以上のときに評価対象とする。)		
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	7. 現場内の整理整頓を日常的に行っている。		
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	8. 使用材料の品質を証明する資料(品質証明書、写真等)を整理している。		
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	9. 工事打合せ簿を、不足無く整理している。		
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	10. 建設副産物の再利用等への取り組みを適切に行っている。		
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	11. 工事全般において、低騒音型、低振動型、排出ガス対策型の建設機械及び車両を使用している。		
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	12. 設計図書の照査や現場との相違事実が有る場合の報告等を適切な時期に行っている。		
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	13. 工事記録の整備が適時、的確になされている。		
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	14. 施工プロセスのチェックリストで、施工管理について指示事項が無い。		
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	15. その他 理由:( )		
		<input type="checkbox"/>	d. 施工管理に関して、監督員が文書による改善指示を行った。	左記該当……d	
		<input type="checkbox"/>	e. 施工管理に関して、監督員からの文書による改善指示に従わなかった。	左記該当……e	
	II. 工程管理	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	1. 工程に与える要因を的確に把握し、それらを反映した工程表を作成している。	評価値(%)=評価項目数/対象項目数  対象項目が2項目以下……c 評価値が90%以上……a 評価値が80~90%未満……b 評価値が60~80%未満……c 評価値が60%未満……d
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	2. 実施工程表の作成及びフォローアップを行っており、適切に工程を管理している。	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	3. 現場状況の変化への対応が迅速であり、施工の停滞が見られない。	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	4. 時間制限や片側交互通行等の各種制約への対応が適切であり、大きな工程の遅れが無い。	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	5. 工事の進捗を早めるための取り組みを行っている。(※取り組み・対策の有無を評価)	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	6. 余裕をもって工期内完了が図られた。(※工期内に完了検査まで終えた場合に評価)	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	7. 休日の確保を行っている。	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	8. 計画工程以外の時間外作業がほとんど無い。(※急な夜間施工など)	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	9. 履行報告が適切に行われている。	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	10. 施工プロセスのチェックリストで、工程管理について指示事項が無い。	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	11. その他 理由:( )	
		<input type="checkbox"/>	d. 工程管理に関して、監督員が文書による改善指示を行った。	左記該当……d	
		<input type="checkbox"/>	e. 工程管理に関して、監督員からの文書による改善指示に従わなかった。	左記該当……e	

工事成績採点表の考査項目の考査項目別運用表（土木工事編）

[記入方法]該当項目を「■」にする。

(監督員)

考査項目	細別	対象項目	評価項目	評価対象項目	評価方法	
2.施工状況	Ⅲ.安全対策	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	1. 災害防止協議会を1回/月以上行っている。	評価値(%)=評価項目数/対象項目数  対象項目が2項目以下……c 評価値が90%以上……a 評価値が80～90%未満……b 評価値が60～80%未満……c 評価値が60%未満……d	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	2. 安全教育及び安全訓練等を半日/月以上実施している。		
<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	3. 新規入場者教育の内容に、当該工事の現場特性を反映している。			
<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	4. 工事期間を通じて、労働災害及び公衆災害が発生しなかった。			
<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	5. 過積載防止に取り組んでいる。			
<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	6. 仮設工の点検及び管理を、チェックリスト等を用いて実施している。			
<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	7. 保安施設の設置及び管理を、各種基準及び関係者間の協議に基づき実施している。			
<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	8. 地下埋設物及び架空線等に関する事故防止対策に取り組んでいる。			
<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	9. 安全管理に関する技術開発や創意工夫に取り組んでいる。			
<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	10. 高所作業、墜落防止、落下物の危険防止、第2種酸欠防止、感電防止、機器等の転倒防止等の対策を立案し、施工に反映している。			
<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	11. 施工プロセスのチェックリストで、安全対策について指示事項が無い。	左記該当……d 左記該当……e		
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	12. その他 理由:( )				
	Ⅳ.対外関係	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	1. 関係官公庁などと調整を行い、トラブルの発生が無い。	評価値(%)=評価項目数/対象項目数  対象項目が2項目以下……c 評価値が90%以上……a 評価値が80～90%未満……b 評価値が60～80%未満……c 評価値が60%未満……d	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	2. 地元との調整を行い、トラブルの発生が無い。		
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	3. 第三者からの苦情が無い。もしくは、苦情に対して適切な対応を行っている。		
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	4. 関連工事との調整を行い、円滑な進捗に取り組んでいる。		
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	5. 工事の目的及び内容を、看板などにより地域住民や通行者等に分かりやすく周知している。		
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	6. 対外的な申請等の書類が適切に処理されていて不足が無い。		
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	7. 施工プロセスのチェックリストで、対外関係について指示事項が無い。		
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	8. その他 理由:( )		左記該当……d 左記該当……e
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	e. 対外関係に関して、監督員からの文書による改善指示に従わなかった。		

工事成績採点表の考査項目の考査項目別運用表(土木工事編)

[記入方法]該当項目を「■」にする。

(監督員)

考査項目	細別	対象項目	評価項目	評価対象項目	評価方法				
3.出来形及び出来栄	I.出来形	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	1. 建築物の機能、性能が設計図書・仕様書の定めた事項を満足している。 2. 出来形成果表(出来形成果総括表、測定結果総括表、測定結果一覧表)が出来形管理基準により作成され適切であることが確認できる。 3. 出来形図が出来形管理基準により作成され、適切であることが確認できる。 4. 出来形管理図表が作成され、適切であることが確認できる。(※測定数が15点以上の場合に評価対象項目とする。) 5. 不可視部分の出来形が写真で確認できる。 6. 写真管理基準の管理項目を満足している。 7. 社内の管理基準に基づき管理していることが確認できる。(※施工計画書にて社内管理基準が明記されている) 8. 出来形管理基準が定められていない工種について、監督員と協議の上で管理していることが確認できる。 9. その他 理由:( )	評価値(%)=評価項目数/対象項目数  対象項目が2項目以下……c 評価値が90%以上……a 評価値が80~90%未満……b 評価値が60~80%未満……c 評価値が60%未満……d				
	1.一般土木工事	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			d. 出来形の測定方法又は測定値が不適切であった為、監督員が文書で改善指示を行った。 e. 契約約款第18条第2項に基づき、監督員が改造請求を行った。	左記該当……d 左記該当……e		
	2.機械設備工事	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			1. 据付に関する出来形管理が容易にできるよう、出来形管理図などを工夫していることが確認できる。 2. 設備全般にわたり、形状及び寸法の実測値が許容範囲内である。 3. 施工管理基準の撮影記録が撮影基準を満足し、出来形の確認ができる。 4. 設計図書で定められていない出来形管理項目について、監督員と協議の上で管理していることが確認できる。 5. 不可視部分の出来形が写真で確認できる。 6. 塗装管理基準の塗膜厚管理を適切にまとめている。 7. 溶接管理基準の出来形管理を適切にまとめている。 8. 社内の管理基準に基づき管理していることが確認できる。(※施工計画書にて社内管理基準が明記されている) 9. 設計図書に定められている予備品に不足が無いことが確認できる。 10. 分解整備における既設部品等の磨耗、損傷等について、整備前と整備後の劣化状況及び回復状況を図表等に記録している。 11. その他 理由:( )	評価値(%)=評価項目数/対象項目数  対象項目が2項目以下……c 評価値が90%以上……a 評価値が80~90%未満……b 評価値が60~80%未満……c 評価値が60%未満……d		
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>					d. 出来形の測定方法又は測定値が不適切であった為、監督員が文書で改善指示を行った。 e. 契約約款第18条第2項に基づき、監督員が改造請求を行った。	左記該当……d 左記該当……e

工事成績採点表の考査項目の考査項目別運用表(土木工事編)

[記入方法]該当項目を「■」にする。

(監督員)

考査項目	細別	対象項目	評価項目	評価対象項目	評価方法
3.出来形及び出来栄	I.出来形 3.電気設備工事 通信・弱電 ・その他類似工事	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	1. 据付に関する出来形管理が容易にできるよう、出来形管理図などを工夫していることが確認できる。	評価値(%)=評価項目数/対象項目数  対象項目が2項目以下……c 評価値が90%以上……a 評価値が80~90%未満…b 評価値が60~80%未満…c 評価値が60%未満……d
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	2. 機器等の測定(試験)結果が、その都度管理図表などに記録され、適切に管理していることが確認できる。	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	3. 写真管理基準の管理項目を満足している。	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	4. 不可視部分の出来形が写真で確認できる。	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	5. 設計図書で定められていない出来形管理項目について、監督員と協議の上で管理していることが確認できる。	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	6. 設備全般にわたり、形状及び寸法の実測値が許容範囲内であることが確認できる。	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	7. 設備の据付、固定方法が、設計図書又は承諾図のとおり施工していることが確認できる。	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	8. 配管及び配線が設計図書又は承諾図のとおり敷設していることが確認できる。	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	9. 行先などを表示した名札が、ケーブルなどに分かり易く堅固に取り付けてある。	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	10. 配管及び配線の支持間隔や絶縁抵抗等について、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	11. 社内の管理基準に基づき管理していることが確認できる。(※施工計画書にて社内管理基準が明記されている)	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	12. 測定機器のキャリブレーションを定期的実施している。	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	13. その他 理由:( )	
		<input type="checkbox"/>		d. 出来形の測定方法又は測定値が不適切であった為、監督員が文書で改善指示を行った。	左記該当……d
		<input type="checkbox"/>		e. 契約約款第18条第2項に基づき、監督員が改造請求を行った。	左記該当……e

工事成績採点表の考査項目の考査項目別運用表(土木工事編)

[記入方法]該当項目を「■」にする。

(監督員)

考査項目	細別	対象項目	評価項目	評価対象項目	評価方法
3.出来形及び出来栄	II.品質 1.コンクリート 構造物工事	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	1. 設計図書に基づくコンクリートの配合試験及び試験練りを行っており、適切なコンクリートの品質(強度・w/c・最大骨材粒径・塩化物総量、単位水量、アルカリ骨材反応抑制等)が確認できる。 (※◎マークを取得していない工場で製造されたコンクリートや◎マーク取得工場であっても JISA5308 以外のレディーミクストコンクリートを用いる場合に評価対象とする。)	評価値(%)=評価項目数/対象項目数  対象項目が2項目以下……c 評価値が90%以上……a 評価値が80~90%未満……b 評価値が60~80%未満……c 評価値が60%未満……d  <input type="checkbox"/> d.品質関係の測定方法又は測定値が不適切であった為、監督員が文書で改善指示を行った。  上記該当……d  <input type="checkbox"/> e.契約約款第18条第2項に基づき、監督員が改造請求を行った。  上記該当……e
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	2. コンクリート受入時に必要な試験を実施しており、気温、スランプ、空気量等の測定結果が確認できる。	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	3. コンクリート供試体が当該現場の供試体であることが確認できる。	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	4. 施工条件及び気象条件に適した運搬時間、打設時の投入高さ、締固時のバイブレータの機種、養生方法等が適切に行われている。(寒中及び暑中コンクリート等を含む)	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	5. 型枠・支保材が十分な強度と安全性を持っており、締め付け確認や剥離剤の塗布などが行われ、打設中の管理が適切である。	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	6. コンクリートの圧縮強度を管理し、必要な強度に達した後に型枠及び支保工の取り外しを行っていることが確認できる。	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	7. コンクリートの打設前に、打継ぎ目処理を適切に行っていることが確認できる。	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	8. 鉄筋の規格・品質が、証明書類で確認できる。	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	9. コンクリート打設までにどろ、油等の有害物が鉄筋に付着しないよう管理していることが確認できる。	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	10. 鉄筋の加工及び組立、かぶり設計図書の仕様を満足していることが確認でき、鉄筋固定方法が適切である。 (※鉄筋交差部が強固に結束され、結束線がかぶりに入らないように内側に折り込まれているか等)	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	11. 溶接・圧接作業にあたり、作業員の技量確認を行っていることが確認できる。	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	12. コンクリートの養生が、設計図書の仕様を満足し、気候等に応じ適切に行われていることが確認できる。(日数、方法等)	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	13. スペースの品質及び個数が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	14. セパレータ部の処理が適切に実施されている。	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	15. 有害なクラックが無い。クラックがある場合であっても、それらが進行性又は貫通クラックではなく、発生したクラックに対しては専門業者等の意見に基づき、適切な処置を行っている。	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	16. その他 理由:( )	

工事成績採点表の考査項目の考査項目別運用表(土木工事編)

[記入方法]該当項目を「■」にする。

(監督員)

考査項目	細別	対象項目	評価項目	評価対象項目	評価方法
3.出来形及び出来栄	II.品質 2.二次製品 構造物工事	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<p>【共通】</p> <p>1. 仕様書に定められている品質管理が実施されている。</p> <p>2. 材料の品質規格証明書が整備されている。</p> <p>3. JIS規格外品について、仕様書で規定する規格、品質を満足している。</p> <p>4. 基礎地盤の整形、清掃、湧水処理等が適切に実施されていることが確認できる。</p> <p>5. 二次製品の保管、吊り込み、据え付け等に十分注意を払っていることが確認できる。</p> <p>6. 土留め、ウェルポイント等の仮設が設計図書に基づき適切に施工・管理されていることが確認できる。</p> <p>7. 製品周辺の盛土、埋戻土の施工にあたり、巻出し、転圧が適切に施工されている。</p> <p>8. 敷モルタルが適切に施工されている。</p> <p>【擁壁類(補強土擁壁は除く)】</p> <p>9. 胴込コンクリート、裏込材の充填が十分で空隙が生じていない。</p> <p>10. 基礎コンクリート及び天端等の調整コンクリートにクラック等の欠陥がない。</p> <p>11. 材料の接続または、かみ合わせが適切でズレがなく、接続部からの土砂流出防止がなされている。</p> <p>12. 端部における地山とのすりつけが適切である。</p> <p>13. 丁張りを2重3重に設けるなど、法勾配、裏込め材の厚さの確保のために細心の注意をはらっている。</p> <p>14. コンクリート擁壁工の施工にあたり、コンクリートの配合、練り混ぜ、打ち込み、締め固め及び養生が適切に行われている。</p> <p>15. その他 理由:( )</p> <p>【用排水路・その他】</p> <p>16. 位置、方向、高さ、勾配等について前後の施設又は地形になじみよく施工されている。</p> <p>17. 不等沈下防止に配慮して、基礎地盤の締固めが特に入念に行われている。</p> <p>18. 呑口、吐口、集水桝等の取付けコンクリートにクラック等の欠陥がない。</p> <p>19. 施設の流末は浸食、滞留が生じないよう処理されている。</p> <p>20. 不等沈下の発生がなく、基礎コンクリートの亀裂や縦目地からの漏水も見られない。</p> <p>21. 継目部の目地モルタル・パッキン等が適切に施工されている。</p> <p>22. 製品の継目部には隙間、ズレがなく、適切に施工されている。</p> <p>23. その他 理由:( )</p>	<p>評価値(%)=評価項目数/対象項目数</p> <p>対象項目が2項目以下……c</p> <p>評価値が90%以上……a</p> <p>評価値が80~90%未満……b</p> <p>評価値が60~80%未満……c</p> <p>評価値が60%未満……d</p> <p><input type="checkbox"/> d.品質関係の測定方法又は測定値が不適切であった為、監督員が文書で改善指示を行った。</p> <p>上記該当……d</p> <p><input type="checkbox"/> e.契約約款第18条第2項に基づき、監督員が改造請求を行った。</p> <p>上記該当……e</p>

工事成績採点表の考査項目の考査項目別運用表（土木工事編）

[記入方法]該当項目を「■」にする。

（監督員）

考査項目	細別	対象項目	評価項目	評価対象項目	評価方法
3.出来形及び出来栄	Ⅱ.品質 2.二次製品 構造物工事	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	【遊具当施設関係(遊具、健康器具、ベンチ、四阿等)】	
				24. 設計図書に基づき現場確認を行い、周辺も含めた利用動線に配慮し配置を決定している。	
				25. 部材の組立て及び建込みにおいて、組立手順書を基に安全性を重視して施工されている。	
				26. 部材固定に使用するボルト、ナット類は、緩みがないよう十分締め付けられている。	
				27. 支柱等の重要部材地際部において、有効な防食措置や必要な土被り厚を確保していることが確認できる。	
				28. 施設毎に設定された安全領域を確保していることが写真で確認でき、領域内の障害物等が除去されている。また、落下対策を施した場合は、設置面の衝撃吸収性能を評価し、測定値が基準を満足している。	
				29. 組立完了後において、安全に関する基準への適合検査を実施している記録がある。	
				30. 施設の施工に際し、修景要素に配慮している。	
				31. その他 理由:( )	

工事成績採点表の考査項目の考査項目別運用表(土木工事編)

[記入方法]該当項目を「■」にする。

(監督員)

考査項目	細別	対象項目	評価項目	評価対象項目	評価方法
3.出来形及び出来栄	II.品質 3.鋼橋工事 (RC床版工事はコンクリート構造物に準ずる)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<p><b>【工場製作関係】</b></p> <p>1. 鋼材の種類を、品質を証明する書類又は現物により照合していることが確認できる。</p> <p>2. 溶接作業にあたり、作業員の技量確認を行っていることが確認できる。</p> <p>3. 溶接作業にあたり、溶接材料の使用区分が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</p> <p>4. 溶接施工に係る施工計画書を提出していることが確認できる。</p> <p>5. 孔開けによって生じたまくれが削り取られているなど、きめ細やかに製作していることが確認できる。</p> <p>6. 欠陥部の発生が見られないことが確認できる。</p> <p>7. 塗装作業にあたり、塗布面を十分に乾燥させて施工していることが確認できる。</p> <p>8. 素地調整を行う場合、第1種ケレン後4時間以内に金属前処理塗装を実施していることが確認できる。</p> <p>9. 塗料の空缶管理について、写真等で確実に空であることが確認できる。</p> <p>10. 塗料の品質が出荷証明書、塗料成績表により、製造年月日、ロット番号、色彩、数量が確認できる。</p> <p>11. 検査路、落橋防止装置、配水管等付属物のめつき・防食・塗装が適切であることが確認できる。</p> <p>12. その他 理由:( )</p> <p><b>【架設関係】</b></p> <p>13. クレーン、ベントなどの設置位置における地盤支持力を確認している。</p> <p>14. ボルトの締付確認が実施され、記録を保管していることが確認できる。</p> <p>15. ボルトの締付機及び測定機器のキャリブレーションを実施していることが確認できる。</p> <p>16. 高力ボルトの締め付けを、中心から外側に向かって行っていることが確認できる。</p> <p>17. 高力ボルトの品質が、証明書類で確認できる。</p> <p>18. ボルトのセットを適切に管理・保管しており、出荷時の品質が施工時まで保たれていることが確認できる。</p> <p>19. 支承及び支承取付構造が、設計図書を満足していることが確認できる。</p> <p>20. 支承の据付で、コンクリート面のチップング及び仕上げ面に水切勾配がついていることが確認できる。</p> <p>21. 沓座モルタルの材料・施工が適切である。(無収縮モルタルを使用、打設前に座面を湿潤状態にし、また確実に充填されるよう注意している)</p> <p>22. 架設にあたって、部材の応力と変形等を十分検討していることが確認できる。</p> <p>23. 架設に用いる仮設備及び架設用機械について品質、性能が確保できる規模及び強度を有していることが確認できる。(※架設計画書等による確認)</p> <p>24. 現場塗装部のケレン及び膜厚管理を適切に行っていることが確認できる。</p> <p>25. 現場塗装において、温度、湿度、風速等の確認を行っていることが確認できる。</p> <p>26. 伸縮装置の据付は、温度補正を行って位置を決定している。</p> <p>27. その他 理由:( )</p>	<p>評価値(%)=評価項目数/対象項目数</p> <p>対象項目が2項目以下……c</p> <p>評価値が90%以上……a</p> <p>評価値が80~90%未満……b</p> <p>評価値が60~80%未満……c</p> <p>評価値が60%未満……d</p> <p><input type="checkbox"/> d.品質関係の測定方法又は測定値が不適切であった為、監督員が文書で改善指示を行った。</p> <p>上記該当……d</p> <p><input type="checkbox"/> e.契約約款第18条第2項に基づき、監督員が改造請求を行った。</p> <p>上記該当……e</p>

工事成績採点表の考査項目の考査項目別運用表(土木工事編)

[記入方法]該当項目を「■」にする。

(監督員)

考査項目	細別	対象項目	評価項目	評価対象項目	評価方法			
3.出来形及び出来栄	II.品質	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	1. 塗装作業にあたり塗布面を十分に乾燥させて施工していることが確認できる。 2. ケレンを入念に実施していることが確認できる。 3. 天候状況の確認、気温及び湿度の測定を行い、塗装作業を行っていることが確認できる。 4. 塗料を使用前に攪拌し、容器の塗料を均一な状態にしてから使用していることが確認できる。 5. 鋼材表面及び被塗装面の汚れ、油膜等を除去し塗装を行なっていることが確認できる。 6. 塗料の空缶管理について写真等で確実に空であることが確認できる。 7. 塗り残し、ながれ、しわ等が無く塗装されていることが確認できる。 8. 溶接部、ボルトの接合部分、構造の複雑な部分について必要な塗膜厚を確保していることが確認できる。 9. 塗料の品質が出荷証明書、塗料成績表により、製造年月日、ロット番号、色彩、数量が確認できる。 10. その他 理由:( )	評価値(%)=評価項目数/対象項目数  対象項目が2項目以下……c 評価値が90%以上……a 評価値が80~90%未満……b 評価値が60~80%未満……c 評価値が60%未満……d  <input type="checkbox"/> d.品質関係の測定方法又は測定値が不適切であった為、監督員が文書で改善指示を行った。			
	4.塗装工事	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			1. 施工基面が平滑に仕上げられていることが確認できる。 2. 裏込材及び胴込めコンクリートの締固めを空隙が生じないように十分に行っていることが確認できる。 3. 緑化ブロック、石積(張)、法枠、かごマット等における材料のかみ合わせ又は連結が、裏込材の吸出しが無いよう行っていることが確認できる。 4. 石積(張)工において、大きさ及び重さが設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 5. 護岸工の端部や曲線部の処理が適切であり、必要な強度及び、水密性を確保していることが確認できる。 6. 遮水シートが所定の幅で重ね合わせられ、端部処理が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 7. 植生工で、植生の種類、品質、配合及び養生が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 8. 根固工、水制工、沈床工、捨石工等において、材料の連結及びかみ合わせが設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 9. 使用材料の品質が証明書類で確認できる。 10. 基礎工において、掘り過ぎが無く施工していることが確認できる。 11. コンクリートブロック等を損傷無く設置していることが確認できる。 12. 施工にあたって、床掘箇所湧水及び滞水は、排除して施工していることが確認できる。 13. 埋戻し材料について、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 14. クラックが無い。クラックがある場合であっても、それらが進行性又は貫通クラックではなく、発生したクラックに対しては専門業者等の意見に基づき、適切な処置を行っている。 15. 丁張りを2重3重に設けるなど、法勾配、裏込め材の厚さの確保のために細心の注意をはらっている。 16. その他 理由:( )	上記該当……d  <input type="checkbox"/> e.契約約款第18条第2項に基づき、監督員が改造請求を行った。  上記該当……e	
5.護岸・根固 ・水制工事	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	1. 施工基面が平滑に仕上げられていることが確認できる。 2. 裏込材及び胴込めコンクリートの締固めを空隙が生じないように十分に行っていることが確認できる。 3. 緑化ブロック、石積(張)、法枠、かごマット等における材料のかみ合わせ又は連結が、裏込材の吸出しが無いよう行っていることが確認できる。 4. 石積(張)工において、大きさ及び重さが設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 5. 護岸工の端部や曲線部の処理が適切であり、必要な強度及び、水密性を確保していることが確認できる。 6. 遮水シートが所定の幅で重ね合わせられ、端部処理が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 7. 植生工で、植生の種類、品質、配合及び養生が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 8. 根固工、水制工、沈床工、捨石工等において、材料の連結及びかみ合わせが設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 9. 使用材料の品質が証明書類で確認できる。 10. 基礎工において、掘り過ぎが無く施工していることが確認できる。 11. コンクリートブロック等を損傷無く設置していることが確認できる。 12. 施工にあたって、床掘箇所湧水及び滞水は、排除して施工していることが確認できる。 13. 埋戻し材料について、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 14. クラックが無い。クラックがある場合であっても、それらが進行性又は貫通クラックではなく、発生したクラックに対しては専門業者等の意見に基づき、適切な処置を行っている。 15. 丁張りを2重3重に設けるなど、法勾配、裏込め材の厚さの確保のために細心の注意をはらっている。 16. その他 理由:( )					上記該当……d  <input type="checkbox"/> e.契約約款第18条第2項に基づき、監督員が改造請求を行った。  上記該当……e

工事成績採点表の考査項目の考査項目別運用表(土木工事編)

[記入方法]該当項目を「■」にする。

(監督員)

考査項目	細別	対象項目	評価項目	評価対象項目	評価方法
3.出来形及び出来ばえ	II.品質 6.コンクリート橋工事 (PC及びRCを対象)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	1. 設計図書に基づくコンクリートの配合試験及び試験練りを行っており、適切なコンクリートの品質(強度・w/c・最大骨材粒径・塩化物総量、単位水量、アルカリ骨材反応抑制等)が確認できる。 (※◎マークを取得していない工場で製造されたコンクリートや、◎マーク取得工場であっても JISA5308 以外のレディーミクストコンクリートを用いる場合に評価対象とする。)	評価値(%)=評価項目数/対象項目数  対象項目が2項目以下……c 評価値が90%以上……a 評価値が80~90%未満……b 評価値が60~80%未満……c 評価値が60%未満……d  <input type="checkbox"/> d.品質関係の測定方法又は測定値が不適切であった為、監督員が文書で改善指示を行った。  上記該当……d  <input type="checkbox"/> e.契約約款第18条第2項に基づき、監督員が改造請求を行った。  上記該当……e
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	2. コンクリート受入時に必要な試験を実施しており、気温、スランプ、空気量等の測定結果が確認できる。	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	3. コンクリート供試体が当該現場の供試体であることが確認できる。	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	4. 施工条件及び気象条件に適した運搬時間、打設時の投入高さ、締固時のバイブレータの機種、養生方法等が適切に行われている。(寒中及び暑中コンクリート等を含む)	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	5. 型枠、支保工の取り外し時のコンクリート強度が適正に管理されている。	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	6. 鉄筋の規格・品質が証明書類で確認できる。	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	7. 鉄筋の加工及び組立が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	8. コンクリート打設までの鉄筋の保管管理が適正であることが確認できる。	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	9. 溶接・圧接作業にあたり、作業員の技量確認を行っている。	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	10. スペーサーの材質が適正で、品質が確認できる。	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	11. スペーサーを適切に配置し、鉄筋のかぶりを確保している。	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	12. プレベーム桁のプレフレクション管理が適切に行われている。	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	13. 装置(機器)のキャリブレーションが実施されている。	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	14. 緊張及びグラウト管理が適切に実施されている。	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	15. プレストレッシング時のコンクリート強度が最大圧縮応力度の1.7倍以上であることが確認できる。	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	16. 構造物と同様な養生条件におかれた供試体を用いて圧縮強度の確認を行っている。	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	17. プレキャストブロックの損傷対策が適切である。(※取卸し時において、ブロック接合面等を十分保護している。)	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	18. プレキャストブロックの接続施工が適切である。	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	19. クラックが無い。クラックがある場合であっても、それらが進行性又は貫通クラックではなく、発生したクラックに対しては専門業者等の意見に基づき、適切な処置を行っている。	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	20. 支承及び支承取付構造が、設計図書を満足していることが確認できる。	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	21. 沓座モルタルの材料・施工が適切である。(無収縮モルタルを使用、打設前に座面を湿潤状態にし、また確実に充填されるよう注意している)	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	22. 伸縮装置の据付は、湿度補正を行って位置を決定している。	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	23. その他 理由:( )	

工事成績採点表の考査項目の考査項目別運用表(土木工事編)

[記入方法]該当項目を「■」にする。

(監督員)

考査項目	細別	対象項目	評価項目	評価対象項目	評価方法
3.出来形及び出来ばえ	Ⅱ.品質 7.舗装工事	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<p>【路床・路盤工関係】</p> <p>1. 施工に伴い、CBR 試験、平板載荷試験及び安定処理の配合試験等を実施し、適切な舗装設計の基礎資料収集を行っている。</p> <p>2. 路床盛土において、一層の仕上がり厚を 20cm 以下とし、各層ごとに締固めて施工していることが確認できる。</p> <p>3. 路床盛土において、構造物の隣接箇所や狭い箇所における締固めが、タンバ等の小型締固め機械により施工していることが確認できる。</p> <p>4. 路床安定処理において、添加材の材質・数量及び混合深さが確認でき、混合むらが無く均一であることが確認できる。</p> <p>5. 路盤の施工に先立って、路床面、下層路盤面の浮き石及び有害物を除去してから施工していることが確認できる。</p> <p>6. 使用材料が分離しておらず、仕上げ面が均一である。</p> <p>7. 路床、路盤工のプルーフローリングを行い、ローラーマークがないことが確認できる。</p> <p>8. 路床・路盤工において現場密度や含水比等の管理を行い、適切な品質であることが確認できる。</p> <p>9. 路上再生路盤工において、施工時の添加材料の噴出量等が設計どおりであることが資料で確認できる。</p> <p>10. その他 理由:( )</p> <p>【アスファルト舗装工関係】</p> <p>11. 設計図書に基づく混合物の配合設計及び試験練りが行われ、適切な混合物の規格が確認できる。(アスファルト混合物の事前審査制度の適用工事は除く。)</p> <p>12. 舗装工の施工にあたって、上層路盤面の浮石などの有害物を除去していることが確認できる。</p> <p>13. 混合物の温度管理が、プラント出荷時・現場到着時・舗設時等で整理・記録されている。</p> <p>14. 舗設後、交通開放を適切に行っている。</p> <p>15. 舗装の各層の継ぎ目が標準仕様書に定められた数値以上ずらしている。</p> <p>16. 目地の処理が標準仕様書に定められた通りであることが確認できる。</p> <p>17. 気象条件に適した混合物の運搬方法、舗設作業(締め固め等)の配慮が行われている。</p> <p>18. プライムコート、タックコートが均一に施工され散布量が確認できる写真、資料がある。</p> <p>19. プライムコート、タックコートが、既設舗装断面及び隣接構造物側面に塗布されていることが確認できる。</p> <p>20. 初期・二次・仕上げ転圧が適切に行われている。</p> <p>21. 基準密度等の管理がされており品質の確認ができる。</p> <p>22. 縦、横断段差処理を適切に行っていることが確認できる。</p> <p>23. 仮区画線の施工が施工計画書のとおり適切に施工されたことが確認できる。</p> <p>24. 路面切削において施工計画と施工結果が整合しており、資料で確認できる。</p> <p>25. 切削後の路面管理が舗設まで適切に管理された。</p> <p>26 その他 理由:( )</p>	<p>評価値(%)=評価項目数/対象項目数</p> <p>対象項目が 2 項目以下……c</p> <p>評価値が 90%以上……a</p> <p>評価値が 80~90%未満……b</p> <p>評価値が 60~80%未満……c</p> <p>評価値が 60%未満……d</p> <p><input type="checkbox"/> d.品質関係の測定方法又は測定値が不適切であった為、監督員が文書で改善指示を行った。</p> <p>上記該当……d</p> <p><input type="checkbox"/> e.契約約款第 18 条第 2 項に基づき、監督員が改造請求を行った。</p> <p>上記該当……e</p>

工事成績採点表の考査項目の考査項目別運用表（土木工事編）

[記入方法]該当項目を「■」にする。

（監督員）

考査項目	細別	対象項目	評価項目	評価対象項目	評価方法		
3.出来形及び出来ばえ	II.品質 7.舗装工事	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	【コンクリート舗装工関係】			
				27. 設計図書に基づくコンクリートの配合試験及び試験練りを行っており、適切なコンクリートの品質(強度・w/c・最大骨材粒径・塩化物総量、単位水量、アルカリ骨材反応抑制等)が確認できる。 (※◎マークを取得していない工場で製造されたコンクリートや、◎マーク取得工場であっても JISA5308 以外のレディーミクストコンクリートを用いる場合に評価対象とする。)			
				<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	28. 舗装工の施工にあたって、上層路盤面の浮石などの有害物を除去していることが確認できる。
				<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	29. コンクリート受入時に必要な試験を実施しており、気温、スランプ、空気量等の測定結果が確認できる。
				<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	30. コンクリート供試体が当該現場の供試体であることが確認できる。
				<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	31. 施工条件及び気象条件に適した運搬時間、打設方法、養生方法を適切に行っている。
				<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	32. 材料が分離しないようコンクリートを敷き均している。
				<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	33. チェアー、タイバー等の保管管理が適正であることが確認できる。
				<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	34. 目地の設置位置・構造が適正であることが確認できる。
				<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	35. その他 理由:( )
							【共通】
				<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	36. 区画線、標識、防護柵等交通安全施設の施工管理資料が整備されており、品質の確認ができる。

工事成績採点表の考査項目の考査項目別運用表(土木工事編)

[記入方法]該当項目を「■」にする。

(監督員)

考査項目	細別	対象項目	評価項目	評価対象項目	評価方法
3.出来形及び出来ばえ	Ⅱ.品質 8.法面工事	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<p>【共通】</p> <p>1. 施工基面が平滑に仕上げられている。</p> <p>2. 設計図書に示されている法勾配で適切に施工されている。</p> <p>3. 施工面の浮石除去・除根等が適切におこなわれている。</p> <p>4. 吹付け材料が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</p> <p>5. 吹付け技能工(ノズルマン・ガンマン)の技量が適切であることが確認できる。</p> <p>6. 法面の変状を常に監視し、施工している。</p> <p>【種子吹付工、客土吹付工、厚層基材吹付工関係】</p> <p>7. 土壌試験を実施し、施工に反映している。</p> <p>8. ネット等の重ね幅が10cm以上確保されている。</p> <p>9. 吹付け厚さが均等である。</p> <p>10. 吹付け厚さによって、必要な場合2層以上に分けて行っているのが確認できる。</p> <p>11. 法面端部付近にラウンディングを行い、法肩・端部に巻き込みを施工している。</p> <p>12. 基材の配合が適切であることが確認できる。</p> <p>13. 吹付完了後、保護養生が行われている。(養生材吹付、散水養生等)</p> <p>14. その他 理由:( )</p> <p>【コンクリート、又はモルタル吹付工関係】</p> <p>15. 金網の重ね幅が10cm以上確保されている。</p> <p>16. ラス張アンカー鉄筋が、仕様書のとおり施工されていることが確認できる。</p> <p>17. 吹付け厚さが均等である。</p> <p>18. 供試体が当該現場の供試体であることが確認できる。</p> <p>19. 跳ね返り材料が適切に処理されている。</p> <p>20. 吸水性の吹付け面の場合に、事前に吸水させていることが確認できる。</p> <p>21. 法面端部付近にラウンディングを行い、法肩・端部に巻き込みを施工している。</p> <p>22. 水抜管を湧水部や凹部に配慮して設置している。</p> <p>23. その他 理由:( )</p> <p>【打法枠工関係(現場打・プレキャスト・現場吹付等)】</p> <p>24. アンカーが適切に施工されていることが確認できる。(長さ、定着等)</p> <p>25. 配筋状況が適切である。</p> <p>26. 打継ぎ目の施工が適切である。(打継ぎ目は水洗いやセメントペーストにより付着性の向上を図っている。)</p> <p>27. 現場養生が適切に行われている。</p> <p>28. 供試体が当該現場の供試体であることが確認できる。</p> <p>29. アンカーと枠の連結や、枠のかみ合わせが適切である。</p> <p>30. 枠と法面間の処理が適切で、密着していることが確認できる。</p> <p>31. 枠内に空隙がないことや、中詰め材が沈下・流出していないことが確認できる。</p> <p>32. 層間に剥離がないことが確認できる。</p> <p>33. 跳ね返り材料が適切に処理されている。</p> <p>34. その他 理由:( )</p>	<p>評価値(%)=評価項目数/対象項目数</p> <p>対象項目が2項目以下……c</p> <p>評価値が90%以上……a</p> <p>評価値が80~90%未満……b</p> <p>評価値が60~80%未満……c</p> <p>評価値が60%未満……d</p> <p><input type="checkbox"/> d.品質関係の測定方法又は測定値が不適切であった為、監督員が文書で改善指示を行った。</p> <p>上記該当……d</p> <p><input type="checkbox"/> e.契約約款第18条第2項に基づき、監督員が改造請求を行った。</p> <p>上記該当……e</p>

工事成績採点表の考査項目の考査項目別運用表(土木工事編)

[記入方法]該当項目を「■」にする。

(監督員)

考査項目	細別	対象項目	評価項目	評価対象項目	評価方法
3.出来形及び出来ばえ	II.品質 9.植栽工事	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	1. 土壌硬度試験及び土壌試験(PH)を実施し施工に反映している。	評価値(%)=評価項目数/対象項目数  対象項目が2項目以下……c 評価値が90%以上………a 評価値が80~90%未満…b 評価値が60~80%未満…c 評価値が60%未満………d  <input type="checkbox"/> d.品質関係の測定方法又は測定値が不適切であった為、監督員が文書で改善指示を行った。  上記該当………d
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	2. 施肥・かん水等、活着管理が適切に行われている。	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	3. 樹木等に損傷、はちくずれ等がなく保護養生が適切に行われている。	
<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	4. 樹木等の生育に害のあるものは除去されている。		
<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	5. 余剰枝の剪定、整形その他必要な手入れが行われている。		
<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	6. 植栽する樹木に応じて、余裕のある植穴を掘り、植穴底部を耕していることが確認できる。		
<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	7. 肥料が直接樹木の根にふれないよう均一に施肥されている。		
<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	8. 樹木、地被類、つる性植物等には樹幹の割れ、病害虫などが無いことが確認できると共に、仕様書に基づいた植え付けが適切になされている。		
<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	9. 埋戻土が設計図書に基づいた性状であり、小石・ごみ・雑草・夾雑物を含まない適切なものであることが確認できる。		
<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	10. 支柱・添え木をぐらつかないように設置していることが確認できる。		
			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
10.建築工事 (土木関連)		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	1. 材料の品質及び形状が設計図書等との適切性が確認でき、証明書が整備されている。	<input type="checkbox"/> e.契約約款第18条第2項に基づき、監督員が改造請求を行った。  上記該当………e
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	2. 部品の品質及び形状が設計図書等との適切性が確認でき、証明書が整備されている。	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	3. 機器等(設備等)の機能が設計図書等との適切性が確認でき、証明書が整備されている。	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	4. 躯体の品質及び形状が設計図書等との適切性が確認でき、建造物の品質が確保されている。	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	5. 室内の塵芥処理等が適切に行われ、納まりの事前検討も十分実施され良質な施工が伺える。	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	6. その他 理由:( )	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
11.標識・区画線等 設置工事、 防護柵(網)工事		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	1. 防護柵設置要綱、視線誘導標設置要綱、道路標識ハンドブック等の規定を満足していることが確認できる。	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	2. 防護柵等の床堀りの仕上り面において、地山の乱れや不陸が生じないよう施工していることが確認できる。	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	3. 防護柵等の基礎工の施工にあたって、無筋及び鉄筋コンクリートの規定を満足していることが確認できる。	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	4. 防護柵等の支柱の施工にあたって、既設舗装面への影響が無いよう施工していることが確認できる。	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	5. 基礎設置箇所について地盤の地耐力を把握して、施工していることが確認できる。	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	6. 防護柵の支柱の根入長が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	7. ガードケーブルを支柱に取り付ける場合、設計図書に定められた所定の張力を与えているのが確認できる。	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	8. ガードケーブルの端末支柱を土中に設置する場合、打設したコンクリートが設計図書に定められた強度以上であることが確認できる。	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	9. ペイント式(常温式)区画線に使用するシンナーの使用量が、10%以下であることが確認できる。	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	10. 区画線の厚さが見本等で設計図書の仕様を満足していることが確認できる。	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	11. 区画線の施工にあたって設置路面の水分、泥、砂じん及びほこりを取り除いて行っていることが確認できる。	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	12. 区画線を消去の場合、表示材(塗料)のみの除去となり、路面への影響が最小限となっていることが確認できる。	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	13. プライマーの施工にあたって、路面に均等に塗布していることが確認できる。	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	14. 区画線の材料が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	15. その他 理由:( )	

工事成績採点表の考査項目の考査項目別運用表(土木工事編)

[記入方法]該当項目を「■」にする。

(監督員)

考査項目	細別	対象項目	評価項目	評価対象項目	評価方法
3.出来形及び出来ばえ	II.品質 12.基礎工事 (地盤改良等を含む)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	【杭関係(コンクリート・鋼管・鋼管井筒、場所打、深礎等)】	評価値(%)=評価項目数/対象項目数  対象項目が2項目以下……c 評価値が90%以上……a 評価値が80~90%未満……b 評価値が60~80%未満……c 評価値が60%未満……d  <input type="checkbox"/> d.品質関係の測定方法又は測定値が不適切であった為、監督員が文書で改善指示を行った。  上記該当……d  <input type="checkbox"/> e.契約約款第18条第2項に基づき、監督員が改造請求を行った。  上記該当……e
				1. 杭等の規格・品質を確認できる資料が整理されている。	
				2. 杭の運搬・保管状態が適切で、損傷及び補修跡がないことが確認できる。	
				3. 杭芯位置、水平度、鉛直度等が設計図書を満足していることが確認できる。	
				4. 配筋、スペーサーの配置及びコンクリート打設等が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。	
				5. ライナープレートの組み立にあたり、偏心と歪みに配慮して施工していることが確認できる。	
				6. 溶接工の技量が確認でき、溶接作業環境が適切である。	
				7. 溶接の品質管理に関して、組立・加工精度が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。	
				8. 場所打杭について、トレミー管をコンクリート内に2m以上挿入し施工していることが確認できる。	
				9. 掘削深度、排出土砂、孔内水位の変動及び安定液を用いる場合の孔内の安定液濃度並びに比重等が、設計図書を満足していることが確認できる。	
				10. 裏込材注入の圧力などが施工記録により確認できる。	
				11. スライムの除去を確実にしていることが確認できる。	
				12. 支持地盤に達していることが、掘削深さ、掘削土砂等により確認できる。	
				13. 杭先端処理が適切に行われていることを示す資料が確認できる。	
				14. 強度確認、セメントミルクの比重管理などの品質に係わる事項の管理資料を整理していることが確認できる。	
				15. 既存杭の打止め管理の方法及び場所打ち杭の施工管理方法が整備されており、その記録を整理していることが確認できる。	
				16. 杭頭処理において、杭本体を損傷していないことが確認できる。	
				17. その他 理由:( )	
				【地盤改良関係(サンド・砕ドレーン、ペーパードレン、サンドコンパクションパイル、ロッドコンパクション等含む)】	
				18. 杭芯位置、水平度、鉛直度等が設計図書を満足していることが確認でき、削孔機械の据付が安定している。	
				19. 改良材の品質・使用量が管理され、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。	
				20. 改良材の配合、比重、噴出量、強度等の管理資料を整理していることが確認できる。	
				21. 事前に土質試験等を実施し、改良材の選定、必要量の設定等を行っていることが確認できる。	
				22. 施工箇所が均一に改良されるとともに、十分な強度及び支持力を確保していることが確認できる。	
				23. 施工管理方法が施工計画書等に記載され、整備されている。	
				24. 施工記録が整理され、適切な施工が確認できる。	
				25. 改良体の形状寸法が設計図書を満足していることが確認できる。	
26. 控工の施工上の注意事項(仕様書による)が守られている。					
27. その他 理由:( )					

工事成績採点表の考査項目の考査項目別運用表(土木工事編)

[記入方法]該当項目を「■」にする。

(監督員)

考査項目	細別	対象項目	評価項目	評価対象項目	評価方法
3.出来形及び出来ばえ	Ⅱ.品質 13.下水道工事	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<p><b>【共通】</b></p> <p>1. マンホール用品の規格・品質がミルシートで確認できる。</p> <p>2. 管渠の規格・品質がミルシートで確認できる。</p> <p>3. 設計図書に基づくコンクリートの配合試験及び試験練りを行っており、適切なコンクリートの品質(強度・w/c・最大骨材粒径・塩化物総量、単位水量、アルカリ骨材反応抑制等)が確認できる。 (※◎マークを取得していない工場で製造されたコンクリートや、◎マーク取得工場であっても JISA5308 以外のレディーミクストコンクリートを用いる場合に評価対象とする。)</p> <p>4. コンクリート受入時に必要な試験を実施しており、気温、スランプ、空気量等の測定結果が確認できる。</p> <p>5. コンクリート供試体が当該現場の供試体であることが確認できる。</p> <p>6. 施工条件及び気象条件に適した運搬時間、打設時の投入高さ、締固時のバイブレータの機種、養生方法等が適切に行われている。(寒中及び暑中コンクリート等を含む)</p> <p>7. 施工基盤面が良好であることが確認できる。</p> <p>8. 管渠の接合状態が良好であることが確認できる。</p> <p><b>【開削工】</b></p> <p>9. 締固めを適切な条件で施工しており、管の周辺に空隙が生じていない。</p> <p>10. 埋め戻し材料の品質が確認できる。</p> <p>11. アスファルト混合物の温度管理が、プラント出荷時・現場到着時・舗設時等で整理・記録されている。</p> <p>12. その他 理由:( )</p> <p><b>【推進工】</b></p> <p>13. 測量及び観測結果を毎日整理し、それに基づいた施工が行われていることが確認できる。</p> <p>14. 常に切羽及び地表面の状態を観測して施工されていることが確認できる。</p> <p>15. 推進作業等がデータで確認できる。</p> <p>16. 裏込めの注入状況が確認できる。</p> <p>17. 地盤改良工の施工管理状況がデータで確認できる。</p> <p>18. その他 理由:( )</p> <p><b>【シールド工】</b></p> <p>19. セグメントの規格・品質がミルシートで確認できる。</p> <p>20. 溶接作業にあたり、作業員の技量確認を行っている。</p> <p>21. 二次コンクリート打設前にあたり、付着物除去の為に十分な水洗清掃を行っていることが確認できる。</p> <p>22. 常に切羽及び地表面の状態を確認して施工されていることが確認できる。</p> <p>23. シールド推進作業等がデータで確認できる。</p> <p>24. 裏込め注入状況がデータで確認できる。</p> <p>25. 地盤改良工の施工管理状況がデータで確認できる。</p> <p>26. その他 理由:( )</p>	<p>評価値(%)=評価項目数/対象項目数</p> <p>対象項目が2項目以下……c                  評価値が90%以上……a                  評価値が80~90%未満……b                  評価値が60~80%未満……c                  評価値が60%未満……d</p> <p><input type="checkbox"/> d.品質関係の測定方法又は測定値が不適切であった為、監督員が文書で改善指示を行った。</p> <p>上記該当……d</p> <p><input type="checkbox"/> e.契約約款第18条第2項に基づき、監督員が改造請求を行った。</p> <p>上記該当……e</p>

工事成績採点表の考査項目の考査項目別運用表（土木工事編）

[記入方法]該当項目を「■」にする。

(監督員)

考査項目	細別	対象項目	評価項目	評価対象項目	評価方法
3.出来形及び出来ばえ	Ⅱ.品質 14.維持工事 (清掃工、付属物工、除雪、応急処理等)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	1. 使用する材料の品質・形状等が適切であり、かつ現場において材料確認を適宜・的確に行っていることが確認できる。	評価値(%)=評価項目数/対象項目数  対象項目が2項目以下……c 評価値が90%以上……a 評価値が80～90%未満……b 評価値が60～80%未満……c 評価値が60%未満……d  <input type="checkbox"/> d.品質関係の測定方法又は測定値が不適切であった為、監督員が文書で改善指示を行った。  上記該当……d  <input type="checkbox"/> e.契約約款第18条第2項に基づき、監督員が改造請求を行った。  上記該当……e
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	2. 構造物の劣化状況をよく把握して、適切な対策を施していることが確認できる。	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	3. 監督員の指示事項に対して、現地状況を勘案し、施工方法や構造についての提案を行うなど積極的に取り組んでいることが確認できる。	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	4. 急的な作業において、迅速かつ適切に対応していることが確認できる。	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	5. その他 理由:( )	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	6. その他 理由:( )	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	7. その他 理由:( )	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	8. その他 理由:( )	
	15.修繕工事 (橋脚補強、耐震補強、落橋防止等)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	1. 使用する材料の品質・形状等が適切であり、かつ現場において材料確認を適宜・的確に行っていることが確認できる。	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	2. 構造物の劣化状況をよく把握して、適切な対策を施していることが確認できる。	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	3. 監督員の指示事項に対して、現地状況を勘案し、施工方法や構造についての提案を行うなど積極的に取り組んでいることが確認できる。	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	4. 施工後のメンテナンスに対する提言や修繕サイクル等を勘案した提案等を行っていることが確認できる。	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	5. その他 理由:( )	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	6. その他 理由:( )	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	7. その他 理由:( )	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	8. その他 理由:( )	

工事成績採点表の考査項目の考査項目別運用表(土木工事編)

[記入方法]該当項目を「■」にする。

(監督員)

考査項目	細別	対象項目	評価項目	評価対象項目	評価方法
3.出来形及び出来ばえ	II.品質 16.機械設備工事	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	1. 材料、部品の品質照合の書類(現物照合)を整理し品質の確認ができる。	評価値(%)=評価項目数/対象項目数  対象項目が2項目以下……c 評価値が90%以上……a 評価値が80~90%未満……b 評価値が60~80%未満……c 評価値が60%未満……d  <input type="checkbox"/> d.品質関係の測定方法又は測定値が不適切であった為、監督員が文書で改善指示を行った。  上記該当……d  <input type="checkbox"/> e.契約約款第18条第2項に基づき、監督員が改造請求を行った。  上記該当……e
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	2. 設備の機能及び性能が、設計・承諾図書のとおり確保され、品質の確認ができる。	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	3. 設計図書の仕様を踏まえた詳細設計を行い、承諾図書として提出していることが確認できる。	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	4. 機器の機能及び性能に係わる成績書が整理され、品質の確認ができる。	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	5. 溶接管理基準の品質管理項目について、品質管理書類を整理し品質の確認ができる。	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	6. 塗装管理基準の品質管理項目について、品質管理書類を整理し品質の確認ができる。	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	7. 操作制御設備について、操作スイッチや表示灯が承諾図書のとおり配置され、操作性にすぐれていることが確認できる。	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	8. 操作制御設備の安全装置及び保護装置の機能・性能確認試験について、試験書類を整理し品質の確認ができる。	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	9. 電気配線、配管が承諾図書のとおり敷設していることが確認できる。	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	10. 機器の配置が点検しやすいよう工夫していることが確認できる。	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	11. 設備の構造や機器の配置が、交換頻度の高い部品等の交換作業を容易にできるよう工夫していることが確認できる。	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	12. 二次コンクリートの配合試験及び試験練りを実施し、試験成績表にまとめていることが確認できる。	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	13. パルプ類の平時の状態を示すラベルなどが見やすい状態で表示していることが確認できる。	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	14. 計器類に運転時の適用範囲を見やすく表示していることが確認できる。	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	15. 回転部や高温部等の危険箇所に表示または防護をしていることが確認できる。	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	16. 構造物劣化状況をよく把握して、適切な対策を施していることが確認できる。	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	17. 現地状況を勘察し、施工方法等についての提案を行うなど積極的に取り組んでいることが確認できる。	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	18. 設備・機器及び付属物の取り付け等が設計・承諾図書に基づき施工されていることが確認できる。	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	19. 完成図書・取扱説明書を工夫し作成(改造・更新・修繕の場合は修正)していることが確認できる。 (※編集手法について評価する)	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	20. 完成図書・取扱説明書において、設備の機能並びに操作方法が容易に判別できる。	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	21. 完成図書・取扱説明書において、単体製品の製造年月日及び製造者が判別できる資料を整備している。	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	22. 完成図書・取扱説明書において、部品等の点検方法やその時期、交換を要する部品や交換方法及び場所について、まとめている。	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	23. その他 理由:( )	

工事成績採点表の考査項目の考査項目別運用表(土木工事編)

[記入方法]該当項目を「■」にする。

(監督員)

考査項目	細別	対象項目	評価項目	評価対象項目	評価方法
3.出来形及び出来ばえ	Ⅱ.品質 17.電気設備工事 (照明設備・受変電設備・その他類似工事含む)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	1. 製作着手前に、品質や性能の確保にかかる技術検計が実施していることが確認できる。 2. 材料・部品の品質照合の結果が品質保証書(現物照合を含む)で確認でき、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 3. 溶接・塗装管理が設計書のとおり実施され、内容が確認でき欠陥がなく満足している。 4. 機器の品質、機能及び性能が設計図書を満足して、成績書にまとめられていることが確認できる。 5. 設備の構造において、点検や消耗品の取替え作業が容易にできるよう工夫していることが確認できる。 6. 設備・機器及び付属物の取り付け等が設計・承諾図書に基づき施工されていることが確認できる。 7. 操作スイッチや表示灯が設計図書のとおり配置され、操作性に優れていることが確認できる。 8. ケーブル及び配管の接続などの作業が、施工計画書に記載された手順に沿って行われ、不具合が無いことが確認できる。 9. 設備の機能及び性能が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 10. 操作制御関係の機能及び性能が、設計図書の仕様を満足しているとともに、必要な安全装置及び保護装置の作業が確認できる。 11. 設備の総合性能が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 12. 現場条件によって機器(製品)の機能及び性能が確認できない場合において、工場試験などで確認していることが確認できる。 13. 完成図書・取扱説明書を工夫し作成(改造・更新・修繕の場合は修正)していることが確認できる。(※編集手法について評価する) 14. 完成図書・取扱説明書において、設備の機能並びに操作方法が容易に判別できる。 15. 完成図書・取扱説明書において、単体製品の製造年月日及び製造者が判別でき、部品等の点検方法やその時期、交換を要する部品や交換方法及び場所について、まとめている。 16. その他 理由:( )	評価値(%)=評価項目数/対象項目数  対象項目が2項目以下……c 評価値が90%以上……a 評価値が80~90%未満……b 評価値が60~80%未満……c 評価値が60%未満……d  □ d.品質関係の測定方法又は測定値が不適切であった為、監督員が文書で改善指示を行った。  上記該当……d  □ e.契約約款第18条第2項に基づき、監督員が改造請求を行った。  上記該当……e
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>			
<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>			
<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>			
<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>			
<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>			
<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>			
<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>			
<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>			
<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>			
<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>			
<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>			
<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>			
<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>			
18.通信・弱電 ・その他類似工事		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			

工事成績採点表の考査項目の考査項目別運用表(土木工事編)

[記入方法]該当項目を「■」にする。

(監督員)

考査項目	細別	対象項目	評価項目	評価対象項目	評価方法
3.出来形及び出来ばえ	Ⅱ.品質 19.水道工事	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<p>【共通】</p> <p>1. 材料の品質規格証明書が整備されている。</p> <p>2. 使用材料の検収や保管等の管理が適切であり、写真等で明確に確認できる。</p> <p>3. コンクリート打設時の必要な供試体採取し、強度・スランプ・空気量等が確認できる。</p> <p>4. コンクリート供試体が当該現場の供試体であることが確認できる。</p> <p>5. 施工条件及び気象条件に適した運搬時間、打設時の投入高さ、締固時のバイブレータの機種、養生方法等が適切に行われている。(寒中及び暑中コンクリート等を含む)</p> <p>6. 施工基盤面が良好であることが確認できる。</p> <p>7. 管の接合状態が良好であることが確認できる。</p> <p>8. 耐震管等の接合管理で全口数について継手チェックシートに記録し写真等で確認できる。</p> <p>9. 布設後の位置を明らかにする出来形図が作成されている。</p> <p>10. 管切断及び挿し口加工が適切に行われていることが確認できる。</p> <p>11. 管内には土砂、ゴミ等が残っていない。</p> <p>12. 防食措置が適切に施工され、そのことが容易に工事写真から判断できる。</p> <p>13. 鉄筋の加工及び組立、かぶりが設計図書の仕様を満足していることが確認でき、鉄筋固定方法が適切である。</p> <p>14. スペーサーの品質及び個数が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</p> <p>15. 型枠、支保工の取り外しが適切に管理されている。</p> <p>16. 給水管等取付工が、仕様書に基づき適切に施工されていることが確認できる。</p> <p>【開削工】</p> <p>17. 締固めを適切な条件で施工しており、管の周辺に空隙が生じていない。</p> <p>18. 埋め戻し材料の品質が確認できる。</p> <p>19. アスファルト混合物の温度管理が、プラント出荷時・現場到着時・舗設時等で整理・記録されている。</p> <p>20. 管の吊り込み、据付け等に十分注意を払っていることが確認できる。</p> <p>21. 埋め戻しの転圧が仕様書どおり施工されている。</p> <p>22. 掘削時に水替工が適切に実施され、管内が清潔に保たれていることが確認できる。</p> <p>23. 土留工が適切に実施されていることが確認できる。</p> <p>24. その他 理由:( )</p>	<p>評価値(%)=評価項目数/対象項目数</p> <p>対象項目が2項目以下……c</p> <p>評価値が90%以上……a</p> <p>評価値が80~90%未満……b</p> <p>評価値が60~80%未満……c</p> <p>評価値が60%未満……d</p>

工事成績採点表の考査項目の考査項目別運用表(土木工事編)

[記入方法]該当項目を「■」にする。

(監督員)

考査項目	細別	対象項目	評価項目	評価対象項目	評価方法
3.出来形及び出来ばえ	II.品質 19.水道工事	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	【水管橋】	
				25. 施工計画書に使用資材の品質が記載され、実使用資材と一致することが確認できる。	
				26. 施工計画書に溶接棒等の品質、施工時の電圧管理方法について記載され、現場施工と一致していることが確認できる。	
				27. 管材入荷時に水協検査証の提出がある。	
				28. 管材等、工事現場に入った材料の管理が適切である。	
				29. 溶接等の作業は有資格者が実施していることが確認できる。	
				30. 管内外面塗装傷の補修が確実に行われ、検査時に未補修がない。	
				31. 溶接作業、塗料作業、メカ接合作業等の重要作業については自社管理が実施されている。	
				32. 現場塗装部のケレン及び膜厚管理を適切に行っていることが確認できる。	
				33. 現場溶接のレントゲン検査等について、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。	
				34. その他 理由:( )	
				【推進工】	
				35. 測量及び観測結果を毎日整理し、それに基づいた施工が行われていることが確認できる。	
				36. 常に切羽及び地表面の状態を観測して施工されていることが確認できる。	
				37. 推進作業等がデータで確認できる。	
				38. 裏込めの注入状況が確認できる。	
				39. 地盤改良工の施工管理状況がデータで確認できる。	
				40. 推進管のクラックや変形がなく、継ぎ手・クラウドホール等からの漏水がない。	
				41. 挿入管と推進管との離隔、空隙への充填材・施工状況・充填度が適切である。	
				42. その他 理由:( )	
				【シールド工】	
				43. セグメントの規格・品質がミルシートで確認できる。	
				44. 溶接作業にあたり、作業員の技量確認を行っている。	
				45. 二次コンクリート打設前にあたり、付着物除去のための十分な水洗清掃を行なっていることが確認できる。	
				46. 常に切羽及び地表面の状態を確認して施工されていることが確認できる。	
				47. シールド推進作業等がデータで確認できる。	
				48. 裏込め注入状況がデータで確認できる。	
49. 地盤改良工の施工管理状況がデータで確認できる。					
50. その他 理由:( )					
<input type="checkbox"/>	d. 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であった為、監督員が文書で改善指示を行った。	左記該当……………d			
<input type="checkbox"/>	e. 契約約款第 18 条第 2 項に基づき、監督員が改造請求を行った。	左記該当……………e			

工事成績採点表の考査項目の考査項目別運用表（土木工事編）

[記入方法]該当項目を「■」にする。

（監督員）

考査項目	細別	対象項目	評価項目	評価対象項目	評価方法
3.出来形及び出来ばえ	Ⅱ.品質	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	1. その他 理由:( )	評価値(%)=評価項目数/対象項目数  対象項目が2項目以下……c 評価値が90%以上……a 評価値が80～90%未満……b 評価値が60～80%未満……c 評価値が60%未満……d  左記該当……d 左記該当……e
	20.上記以外の工事又は合併工事	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	2. その他 理由:( )	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	3. その他 理由:( )	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	4. その他 理由:( )	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	5. その他 理由:( )	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	主たる工種の考査事項で考査し、最大考査項目は5項目とする。	
	<input type="checkbox"/>		d. 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であった為、監督員が文書で改善指示を行った。		
	<input type="checkbox"/>		e. 契約約款第18条第2項に基づき、監督員が改造請求を行った。		

工事成績採点表の考査項目の考査項目別運用表(土木工事編)

[記入方法]該当項目を「■」にする。

(監督員)

考査項目	細別	評価項目	評価点数	創意工夫キーワード一覧	記述評価 (加点数を選択した評価内容を詳細記述)	
5.創意工夫	I.創意工夫	<input type="checkbox"/>	1	<b>【施工】</b> 1. 施工に伴う器具・工具・装置等に関する工夫又は設備据付後の試運転調整に関する工夫。 2. コンクリート二次製品などの代替材の利用に関する工夫。 3. 土工、地盤改良、橋梁架設、舗装、コンクリート打設等の施工に関する工夫。 4. 部材並びに機材等の運搬及び吊り方式などの施工方法に関する工夫。 5. 設備工事における加工や組立等又は、電気工事における配線や配管等に関する工夫。 6. 給排水工事や衛生設備工事等における配管又はポンプ類の凍結防止、配管のつなぎ等に関する工夫。 7. 照明などの視界の確保に関する工夫。 8. 仮排水、仮道路、迂回路等の計画的な施工に関する工夫。 9. 運搬車両、施工機械等に関する工夫。 10. 支保工、型枠工、足場工、仮橋、覆工板、山留め等の仮設工に関する工夫。 11. 盛土の締固度、杭の施工高さの管理に関する工夫。 12. 施工計画書の作成、写真管理等に関する工夫。 13. 出来形又は品質の計測、集計、管理図等に関する工夫。 14. 施工管理ソフト、土量管理システム等の活用に関する工夫。 15. ICT(情報通信技術)を活用した情報化施工を取り入れた工事。 16. 特殊な工法や材料を用いた工事。 17. 優れた技術力又は能力として評価する技術を用いた工事。 <b>【新技術活用】</b> (活用技術の内容により1~2点とする。) 18. 受注者からの提案による NETIS 登録技術の活用。 <b>【品質】</b> 19. 土工、設備、電気の品質向上に関する工夫。 20. コンクリートの材料、打設、養生に関する工夫。 21. 鉄筋、PC ケーブル、コンクリート二次製品の使用材料に関する工夫。 22. 配筋、溶接作業等に関する工夫。 <b>【安全衛生】</b> 23. 建設業労働災害防止協会が定める指針に基づく安全衛生教育を実施している。 24. 安全を確保するための仮設備などに関する工夫。 (落下物、墜落、転落、挟まれ、看板、立入禁止柵、手摺り、足場等) 25. 安全教育、技術向上委員会、安全パトロールに関する工夫。 26. 現場事務所、労務者宿舎等の空間及び設備等に関する工夫。 27. 有毒ガス並びに可燃ガスの処理及び粉塵防止並びに作業中の換気等に関する工夫。 28. 一般車両突入時の被害軽減方策又は一般交通の安全確保に関する工夫。 29. 厳しい作業環境の改善に関する工夫。 30. 環境保全に関する工夫。 31. その他 理由:( ) 32. その他 理由:( ) 33. その他 理由:( ) 34. その他 理由:( ) 35. その他 理由:( ) 36. その他 理由:( ) 37. その他 理由:( )	加点合計:            点  評点:                点	
		<input type="checkbox"/>	1			<b>【創意工夫の詳細評価】</b> 工夫の内容及び具体的内容を記載
		<input type="checkbox"/>	1			※1.特に評価すべき創意工夫事例を加点評価する。 ただし評価については監督員上司との合議とする。 又、設計積算中に含まれると判断される施工・品質管理、安全対策を超えた工夫に対し、その工夫の効果が認められるものに限り評価する。 ※2.評価は各項目において1.2点で評価し、最大7点の評価とする。 ※3.該当する数と重みを勘案して評価し加点数を入力すること。1項目1点を目安とするが、内容によってはそれ以上の点数を与えてもよい。 ※4.上記の考査項目の他に評価に値する企業の工夫があれば、「その他」に具体的に記載して加点する。 「工事特性」との二重評価は行わない。

工事成績採点表の考査項目の考査項目別運用表（土木工事編）

[記入方法]該当項目を「■」にする。

(監督員上司)

考査項目	細別	評価項目	評価対象項目	評価方法
2.施工状況	II.工程管理	<input type="checkbox"/> 1. 隣接する他の工事などとの積極的な工程調整に取り組み、遅れを発生させることなく工事を完成させた。 <input type="checkbox"/> 2. 地元及び関係機関との調整に取り組み、遅れを発生させることなく工事を完成させた。 <input type="checkbox"/> 3. 工程管理を適切に行ったことにより、休日や夜間工事の回避等を行い、地域住民に公共工事に対する好印象を与えた。 <input type="checkbox"/> 4. 工程管理に係る積極的な取り組みが見られた。 <input type="checkbox"/> 5. 災害復旧工事など特に工期的な制約がある場合において、余裕をもって工事を完成させた。 <input type="checkbox"/> 6. 工事施工箇所が広範囲に点在している場合において、工程管理を的確に行い、余裕をもって工事を完成させた。 <input type="checkbox"/> 7. 実施工程表の作成及びフォローアップを行っており、適切に工程を管理している。 <input type="checkbox"/> 8. 履行報告が適切に行われている。 <input type="checkbox"/> 9. その他 理由:( )	評価項目数が5項目以上…a 評価項目数が3項目以上…b 評価項目数が2項目以上…c  左記該当……………d 左記該当……………e	
	III.安全対策	<input type="checkbox"/> 1. 建設労働災害及び公衆災害の防止に向けた取り組みが顕著であった。 <input type="checkbox"/> 2. 安全衛生を確保するための管理体制を整備し組織的に取り組んだ。 <input type="checkbox"/> 3. 安全衛生を確保するため、他の模範となるような活動に積極的に取り組んだ。 <input type="checkbox"/> 4. 安全対策に関する技術開発や創意工夫に取り組んだ。 <input type="checkbox"/> 5. 安全協議会での活動に積極的に取り組んだ。 <input type="checkbox"/> 6. 安全対策に係る取り組みが地域から評価された。 <input type="checkbox"/> 7. その他 理由:( )	評価項目数が4項目以上…a 評価項目数が2項目以上…b 評価項目数が1項目以上…c  左記該当……………d 左記該当……………e	

工事成績採点表の考査項目の考査項目別運用表（土木工事編）

【記入方法】該当項目を「■」にする。

（監督員上司）

考査項目	細別	評価項目	工事特性キーワード一覧	【事例】具体的な施工条件等への対応事例
4.工事特性	I.施工条件等への対応	<input type="checkbox"/>	I 構造物の特殊性への対応 1. 対象構造物の高さ、延長、施工(断)面積、施工深度等の規模が特殊な工事	(1.について) ・切土、盛土、掘削土量 5万 m <sup>3</sup> 以上又は切土高(直高)20m 以上 盛土高(直高) 10m 以上 ・護岸高(直高)5m 以上 ・築堤高(堤内地地盤高から計画堤防高の差) 5m 以上 ・浚渫工(港湾)20 万 m <sup>3</sup> 以上 ・樋門、樋管 15 m <sup>3</sup> 以上 ・揚排水機場 1500mm 以上 ・堰、水門、最大径間長 20m 以上又は径間数 2 系間以上 ・トンネル(シールド)径 10m 以上 ・海岸堤防、護岸、突堤、離岸堤 水深 5m 以上 ・地滑り防止工 ・流路工 50m <sup>3</sup> /s 以上 ・砂防ダム 10m 以上 ・治水ダム(転流工を含む)30m 以上 ・橋梁下部工高さ 15m 以上 ・橋梁上部工 最大支間長 80m 以上 ・土留工、締切工(直高)5m 以上 ・下水道管渠(推進工)400m 以上/スパン ・下水道管渠(シールド) ・下水道中継ポンプ場(暫定ポンプ場、マンホール形式ポンプ場は除く) ・下水道処理場(場内ポンプ場、沈砂池、水処理施設及びこれらと同規模工事)
		<input type="checkbox"/>	2. 対象構造物の形状が複雑であることなどから、施工条件が特に変化する工事	
		<input type="checkbox"/>	3. その他 理由:( )	(2.について) ・砂防工事などにおいて、現地合わせに基づいて再設計が必要な工事。 ・鉄道に隣接した橋脚の耐震補強工事又は河道内の流水部における橋脚の撤去工事。 ・供用中の道路トンネルの拡幅工事。 (3.について) ・その他、構造物固有の難しさへの対応が特に必要な工事。 ・その他、技術固有の難しさへの対応が必要である工事。 ・地山強度が低い又は土被りが薄いため、FEM 解析などによる検討が必要な工事。
		<input type="checkbox"/>	II 都市部等の作業環境、社会条件等への対応 4. 地盤の変形、近接構造物、地中埋設物への影響に配慮する工事	(4.について) ・供用中の鉄道又は道路と交差する橋梁などの工事。 ・市街地等の家屋密集地での、鉄道又は道路をアンダーパスする工事。 ・監視などの結果に基づき、工法の変更を行った工事。 (5.について) ・ガス管、水道管、電話線等の支障物件の移設について、施工工程の管理に特に注意を要した工事。 (6.について) ・市街地での夜間工事。 ・DID 地区での工事。 (7.について) ・日交通量が概ね 1 万台以上の道路で片側通行の交通規制をした工事。 ・供用している自動車専用道路等の路上工事で、交通規制が必要な工事。 ・工事期間中の大半にわたって、交通開放を行う為規制標識の設置撤去を日々行った工事。 (8.について) ・緊急時の作業があり、その作業の全てに対応した工事。 (9.について) ・作業現場が広範囲に分布している工事。 (10.について) ・施工ヤードの広さや高さに制限があり、機械の使用など施工に制約を受けた工事。 ・その他、周辺環境又は社会条件への対応が必要な工事。
		<input type="checkbox"/>	5. 周辺環境条件により、作業条件、工程に大きな影響を受ける工事	
		<input type="checkbox"/>	6. 周辺住民等に対する騒音・振動を特に配慮する工事	
		<input type="checkbox"/>	7. 現道上での交通規制に大きく影響する工事	
		<input type="checkbox"/>	8. 緊急時に対応が必要な工事	
		<input type="checkbox"/>	9. 施工箇所が広範囲にわたる工事	
		<input type="checkbox"/>	10. その他 理由:( )	

工事成績採点表の考査項目の考査項目別運用表（土木工事編）

[記入方法]該当項目を「■」にする。

（監督員上司）

考査項目	細別	評価項目	工事特性キーワード一覧	【事例】具体的な施工条件等への対応事例
4.工事特性	I.施工条件等への対応	<input type="checkbox"/>	Ⅲ 厳しい自然・地盤条件への対応 11. 特殊な地盤条件への対応が必要な工事	(11.について) ・河川内の橋脚工事において、地下水位が高く、ウエルポイント工法などによる排水や大規模な山留めなどが必要な工事。 ・支持地盤の形状が複雑なため、深礎杭基礎毎に地質調査を実施するなど支持地盤を確認しながら再設計した工事。 ・施工不能日が多いことから、施工機械の稼働率や台数などを的確に把握する必要がある工事。 (12.について) ・海岸又は河川区域内のため、設計書で計上する以上に波浪等の影響で不稼働日が多く、主に作業船や台船を使用する工事。 ・潜水夫を多用した工事又は波浪や水位変動が大きいため作業構台等を設置した工事。 (13.について) ・急峻な地形のため、作業構台や作業床の設置が制限される工事。 もしくは、命綱を使用する必要があった工事(法面工は除く)。 ・斜面上又は急峻な地形直下での工事のため、工事に伴う地滑り防止対策の安全対策を必要とした工事。 ・土石流危険渓流に指定された区域内における工事。 (14.について) ・貴重な動植物に対する配慮のため、工種や施工方法に制約を受けた工事。 (15.について) ・その他、自然条件又は地盤条件への対応が必要であった工事。 ・その他、災害等における臨機の措置のうち特に評価すべき事項が認められる工事。
		<input type="checkbox"/>	12. 雨・雪・風・気温・波浪等の自然条件の影響が大きな工事	
	<input type="checkbox"/>	13. 急峻な地形及び土石流危険渓流内での工事		
		<input type="checkbox"/>	14. 動植物等の自然環境の保全に特に配慮しなければならない工事	
		<input type="checkbox"/>	15. その他 理由:( )	
		<input type="checkbox"/>	Ⅳ 長期工事における安全確保への対応 16. 12ヶ月を超える工事で、事故がなく完成した工事(全面一時中止期間は除く)ただし、文書注意に至らない事故は除く。	
		<input type="checkbox"/>	17. その他 理由:( )	
	評価		加点合計: 点 評 点: 点	【工事特性のキーワードの詳細記入】

[記入方法]該当する項目の加点数を選択すること

※1.工事特性は、最大 20 点の評価とする。

※2.監督員が評価する「5.創意工夫」との二重評価は行わない。

※3.評価に当たっては、監督員の意見も参考にし、検査員との合議の上評価する。

※4.1 項目 1 点を目安とする。

工事成績採点表の考査項目の考査項目別運用表（土木工事編）

[記入方法]該当項目を「■」にする。

(監督員上司)

考査項目	細別	評価項目	評価対象項目	評価方法
6.社会性等	I.地域への貢献等	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<p>1. 現場事務所や作業現場の環境を周辺地域との景観に合わせる等、積極的に周辺地域との調和を図った。</p> <p>2. 定期的に広報紙や現場見学会等を実施して、積極的に地域とのコミュニケーションを図った。</p> <p>3. 地域生活に密着したゴミ拾い(自治会等による清掃活動)、道路清掃等のボランティア活動等へ積極的に参加し地域に貢献した。</p> <p>4. 地域が主催するイベント(前記3を除く)へ積極的に参加し、地域とのコミュニケーションを図った。</p> <p>5. 災害時などにおいて、地域への支援又は行政による救援活動に積極的に協力を行った。</p> <p>6. 周辺環境への配慮に積極的に取り組んだ。(前記対象項目以外のものがあれば評価対象とする。)</p> <p>7. その他 理由:( )</p> <p>※受注者からの提出を受け評定を行う。                  ※実施した項目が、地域貢献として認められたものを評価する。</p>	<p>評価項目数が5項目以上・・・a</p> <p>評価項目数が4項目……………a'</p> <p>評価項目数が3項目……………b</p> <p>評価項目数が2項目……………b'</p> <p>評価項目数が1項目以下……c</p>



工事成績採点表の考査項目の考査項目別運用表(土木工事編)

[記入方法]該当項目を「■」にする。

(検査員)

考査項目	細別	対象項目	評価項目	評価対象項目	評価方法
2.施工状況	I.施工管理	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	1. 契約約款第 19 条第 1 項第 1 号から 5 号に基づく設計図書の照査を行っていることが確認できる。	評価値(%)=評価項目数/対象項目数  対象項目が 2 項目以下……c 評価値が 90%以上……………a 評価値が 80～90%未満……b 評価値が 60～80%未満……c 評価値が 60%未満……………d
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	2. 施工計画書が工事着手前に提出され、所定の項目が記載されているとともに、設計図書の内容及び現場条件を反映したものとなっていることが確認できる。	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	3. 工事期間を通じて、施工計画書の記載内容と現場施工方法が一致していることが確認できる。	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	4. 現場条件又は計画内容に変更が生じた場合は、その都度当該工事着手前に変更施工計画書を提出していることが確認できる。	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	5. 施工体制台帳及び施工体系図を、法令等に沿った内容で的確に整備していることが確認できる。	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	6. 作業分担と責任の範囲が書面で確認できる。	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	7. 施工計画書と現場の施工体制が一致している。	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	8. 工事材料の品質に影響が無いよう、工事材料を保管していることが確認できる。	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	9. 工場検査、機器承諾図等の提出が適切な時期に行われている。	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	10. 品質証明体制が確立され、関係書類、出来形、品質管理を工事全般にわたって行っていることが確認できる。 (※品質証明員の任命、品質マネジメントシステムの導入などによる)	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	11. 品質確保のための対策など施工に関する独自の工夫がみられる。	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	12. 品質管理図表及び度数表が作成され、適切である。(※測定数 15 点以上の時に評価対象とする)	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	13. 使用材料等の品質保証書等または工事記録写真等の整理に工夫がみられる。	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	14. 社内の管理基準に基づき管理していることが確認できる。 (※施工計画書等に基準・対応・体制等が明記されているか。)	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	15. 段階確認、施工状況把握に係わる報告が適切な時期に行われている。	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	16. 立会確認の手続きを事前に行っていることが確認できる。	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	17. 工事記録の整備が適時、的確になされている。	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	18. 工事の関係書類を不足なく簡潔に整理していることが確認できる。	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	19. 建設副産物の再利用等へ取り組みを行っていることが確認できる。	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	20. 下請に対する引き取り(完成)検査を書面で実施していることが確認できる。	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	21. その他 理由:( )	
		<input type="checkbox"/>		d. 施工管理に関して、監督員が文書による改善指示を行った。	左記該当……………d
		<input type="checkbox"/>		e. 施工管理に関して、監督員からの文書による改善指示に従わなかった。	左記該当……………e

工事成績採点表の考査項目の考査項目別運用表(土木工事編)

[記入方法]該当項目を「■」にする。

(検査員)

考査項目	細別	対象項目	評価項目	評価対象項目	評価方法		
3.出来形及び出来ばえ	I.出来形	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	1. 築造物の機能、性能が設計図書・仕様書の定めた事項を満足している。 2. 出来形成果表(出来形成果総括表、測定結果総括表、測定結果一覧表)が出来形管理基準により作成され適切であることが確認できる。 3. 出来形図が出来形管理基準により作成され、適切であることが確認できる。 4. 出来形管理図表が作成され、適切であることが確認できる。(※測定数が15点以上の場合に評価対象項目とする。) 5. 不可視部分の出来形が写真で確認できる。 6. 写真管理基準の管理項目を満足している。 7. 社内の管理基準に基づき管理していることが確認できる。(※施工計画書にて社内管理基準が明記されている) 8. 出来形管理基準が定められていない工種について、監督員と協議の上で管理していることが確認できる。 9. その他 理由:( )  d. 出来形の測定方法又は測定値が不適切であった為、監督員が文書で指示を行い改善された。 d. 検査時に評価対象項目について不備があり改善させた。 e. 出来形の測定方法又は測定値が不適切であった為、検査員が修補指示を行った。	評価値(%)=評価項目数/対象項目数  対象項目が2項目以下……c 評価値が95%以上……a 評価値が90~95%未満……a' 評価値が85~90%未満……b 評価値が80~85%未満……b' 評価値が60~80%未満……c 評価値が60%未満……d  左記のいずれか該当……d  左記該当……e		
	1.一般土木工事	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>				
2.機械設備工事		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			1. 据付に関する出来形管理が容易にできるよう、出来形管理図などを工夫していることが確認できる。 2. 設備全般にわたり、形状及び寸法の実測値が許容範囲内である。 3. 施工管理基準の撮影記録が撮影基準を満足し、出来形の確認ができる。 4. 設計図書で定められていない出来形管理項目について、監督員と協議の上で管理していることが確認できる。 5. 不可視部分の出来形が写真で確認できる。 6. 塗装管理基準の塗膜厚管理が適切にまとめられている。 7. 溶接管理基準の出来形管理が適切にまとめられている。 8. 社内の管理基準に基づき管理していることが確認できる。(※施工計画書にて社内管理基準が明記されている) 9. 設計図書に定められている予備品に不足が無いことが確認できる。 10. 分解整備における既設部品等の磨耗、損傷等について、整備前と整備後の劣化状況及び回復状況を図表等に記録している。 11. その他 理由:( )  d. 出来形の測定方法又は測定値が不適切であった為、監督員が文書で指示を行い改善された。 d. 検査時に評価対象項目について不備があり改善させた。 e. 出来形の測定方法又は測定値が不適切であった為、検査員が修補指示を行った。	評価値(%)=評価項目数/対象項目数  対象項目が2項目以下……c 評価値が95%以上……a 評価値が90~95%未満……a' 評価値が85~90%未満……b 評価値が80~85%未満……b' 評価値が60~80%未満……c 評価値が60%未満……d  左記のいずれか該当……d  左記該当……e
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>				
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>				
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>				
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>				
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>				
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>				
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>				
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>				
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>				
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>				

工事成績採点表の考査項目の考査項目別運用表(土木工事編)

[記入方法]該当項目を「■」にする。

(検査員)

考査項目	細別	対象項目	評価項目	評価対象項目	評価方法
3.出来形及び出来ばえ	I.出来形 3.電気設備工事 通信・弱電 ・その他類似工事	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	1. 据付に関する出来形管理が容易にできるよう、出来形管理図などを工夫していることが確認できる。	評価値(%)=評価項目数/対象項目数  対象項目が2項目以下……c 評価値が95%以上……a 評価値が90~95%未満……a' 評価値が85~90%未満……b 評価値が80~85%未満……b' 評価値が60~80%未満……c 評価値が60%未満……d  左記のいずれか該当……d  左記該当……e
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	2. 機器用の測定(試験)結果が、その都度管理図表などに記録され、適切に管理していることが確認できる。	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	3. 写真管理基準の管理項目を満足している。	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	4. 不可視部分の出来形が写真で確認できる。	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	5. 設計図書で定められていない出来形管理項目について、監督員と協議の上で管理していることが確認できる。	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	6. 設備全般にわたり、形状、寸法の実測値が許容範囲内であることが確認できる。	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	7. 設備の据付、固定方法が、設計図書又は承諾図書のとおり施工していることが確認できる。	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	8. 配管及び配線が設計図書又は承諾図書のとおり敷設していることが確認できる。	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	9. 行先などを表示した名札が、ケーブルなどに分かり易く堅固に取り付けている。	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	10. 配管及び配線の支持間隔や絶縁抵抗等について、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	11. 社内の管理基準に基づき管理していることが確認できる。(※施工計画書にて社内管理基準が明記されている)	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	12. 測定機器のキャリブレーションを定期的実施している。	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	13. その他 理由:( )	
		<input type="checkbox"/>		d. 出来形の測定方法又は測定値が不適切であった為、監督員が文書で指示を行い改善された。	
		<input type="checkbox"/>		d. 検査時に評価対象項目について不備があり改善させた。	
		<input type="checkbox"/>		e. 出来形の測定方法又は測定値が不適切であった為、検査員が修補指示を行った。	

工事成績採点表の考査項目の考査項目別運用表(土木工事編)

[記入方法]該当項目を「■」にする。

(検査員)

考査項目	細別	対象項目	評価項目	評価対象項目	評価方法
3.出来形及び出来ばえ	II.品質 1.コンクリート 構造物工事	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	1. 設計図書に基づくコンクリートの配合試験及び試験練りを行っており、適切なコンクリートの品質(強度・w/c・最大骨材粒径・塩化物総量、単位水量、アルカリ骨材反応抑制等)が確認できる。 (※◎マークを取得していない工場で製造されたコンクリートや、◎マーク取得工場であっても JISA5308 以外のレディーミクストコンクリートを用いる場合に評価対象とする。)	評価値(%)=評価項目数/対象項目数  対象項目が2項目以下……c 評価値が95%以上……………a 評価値が90~95%未満……a' 評価値が85~90%未満……b 評価値が80~85%未満……b' 評価値が60~80%未満……c 評価値が60%未満……………d
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	2. コンクリート受入時に必要な試験を実施しており、気温、スランプ、空気量等の測定結果が確認できる。	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	3. コンクリート供試体が当該現場の供試体であることが確認できる。	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	4. 施工条件及び気象条件に適した運搬時間、打設時の投入高さ、締固時のバイブレータの機種、養生方法等が適切に行われている。(寒中及び暑中コンクリート等を含む)	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	5. 型枠・支保材が十分な強度と安全性を持っており、締め付け確認や剥離剤の塗布などが行われ、打設中の管理が適切である。	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	6. コンクリートの圧縮強度を管理し、必要な強度に達した後に型枠及び支保工の取り外しを行っていることが確認できる。	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	7. コンクリートの打設前に、打継ぎ目処理を適切に行っていることが確認できる。	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	8. 鉄筋の規格・品質が、証明書類で確認できる。	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	9. コンクリート打設までにどろ、油等の有害物が鉄筋に付着しないよう管理していることが確認できる。	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	10. 鉄筋の加工及び組立、かぶり設計図書の仕様を満足していることが確認でき、鉄筋固定方法が適切である。 (※鉄筋交差部が強固に結束され、結束線がかぶりに入らないように内側に折り込まれているか等)	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	11. 溶接・圧接作業にあたり、作業員の技量確認を行っていることが確認できる。	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	12. コンクリートの養生が、設計図書の仕様を満足し、気候等に応じ適切に行われていることが確認できる。(日数、方法等)	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	13. スペーサーの品質及び個数が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	14. セパレータ部の処理が適切に実施されている。	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	15. クラックが無い。クラックがある場合であっても、それらが進行性又は貫通クラックではなく、発生したクラックに対しては専門業者等の意見に基づき、適切な処置を行っている。	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	16. その他 理由:( )	
		<input type="checkbox"/>		d. 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であった為、監督員が文書で指示を行い改善された。	左記のいずれかが該当……………d
		<input type="checkbox"/>		d. 検査時に評価対象項目について不備があり改善させた。	
		<input type="checkbox"/>		e. 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であった為、検査員が修補指示を行った。	左記該当……………e

工事成績採点表の考査項目の考査項目別運用表(土木工事編)

[記入方法]該当項目を「■」にする。

(検査員)

考査項目	細別	対象項目	評価項目	評価対象項目	評価方法
3.出来形及び出来ばえ	II.品質 2.二次製品 構造物工事			【共通】	評価値(%)=評価項目数/対象項目数  対象項目が2項目以下……c 評価値が95%以上……a 評価値が90~95%未満……a' 評価値が85~90%未満……b 評価値が80~85%未満……b' 評価値が60~80%未満……c 評価値が60%未満……d
				1. 仕様書に定められている品質管理が実施されている。	
				2. 材料の品質規格証明書が整備されている。	
				3. JIS規格外品について、仕様書で規定する規格、品質を満足している。	
				4. 基礎地盤の整形、清掃、湧水処理等が適切に実施されていることが確認できる。	
				5. 二次製品の保管、吊り込み、据え付け等に十分注意を払っていることが確認できる。	
				6. 土留め、ウェルポイント等の仮設が設計図書に基づき適切に施工・管理されていることが確認できる。	
				7. 製品周辺の盛土、埋戻土の施工にあたり、巻出し、転圧が適切に施工されている。	
				8. 敷モルタルが適切に施工されている。	
				【擁壁類(補強土擁壁は除く)】	
				9. 胴込コンクリート、裏込材の充填が十分で空隙が生じていない。	
				10. 基礎コンクリート及び天端等の調整コンクリートにクラック等の欠陥がない。	
				11. 材料の接続または、かみ合わせが適切でズレがなく、接続部からの土砂流出防止がなされている。	
				12. 端部における地山とのすりつけが適切である。	
				13. 丁張りを2重3重に設けるなど、法勾配、裏込め材の厚さの確保のために細心の注意をはらっている。	
				14. コンクリート擁壁工の施工にあたり、コンクリートの配合、練り混ぜ、打ち込み、締め固め及び養生が適切に行われている。	
				15. その他 理由:( )	
				【用排水路・その他】	
				16. 位置、方向、高さ、勾配等について前後の施設又は地形になじみよく施工されている。	
				17. 不等沈下防止に配慮して、基礎地盤の締固めが特に入念に行われている。	
				18. 呑口、吐口、集水柵等の取付けコンクリートにクラック等の欠陥がない。	
				19. 施設の流末は浸食、滞留が生じないよう処理されている。	
				20. 不等沈下の発生がなく、基礎コンクリートの亀裂や縦目地からの漏水も見られない。	
21. 継目部の目地モルタル・パッキン等が適切に施工されている。					
22. 製品の継目部には隙間、ズレがなく、適切に施工されている。					
23. その他 理由:( )					

工事成績採点表の考査項目の考査項目別運用表(土木工事編)

[記入方法]該当項目を「■」にする。

(検査員)

考査項目	細別	対象項目	評価項目	評価対象項目	評価方法
3.出来形及び出来ばえ	II.品質 2.二次製品 構造物工事	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<p>【遊具等施設関係(遊具、健康器具、ベンチ、四阿等)】</p> <p>24. 設計図書に基づき現場確認を行い、周辺も含めた利用動線に配慮し配置を決定している。</p> <p>25. 部材の組立て及び建込みにおいて、組立手順書を基に安全性を重視して施工されている。</p> <p>26. 部材固定に使用するボルト、ナット類は、緩みがないよう十分締め付けられている。</p> <p>27. 支柱等の重要部材地際部において、有効な防食措置や必要な土被り厚を確保していることが確認できる。</p> <p>28. 施設毎に設定された安全領域を確保していることが写真で確認でき、領域内の障害物等が除去されている。 また、落下対策を施した場合は、設置面の衝撃吸収性能を評価し、測定値が基準を満足している。</p> <p>29. 組立完了後において、安全に関する基準への適合検査を実施している記録がある。</p> <p>30. 施設の施工に際し、修景要素に配慮している。</p> <p>31. その他 理由:( )</p> <p><input type="checkbox"/> d. 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であった為、監督員が文書で指示を行い改善された。</p> <p><input type="checkbox"/> d. 検査時に評価対象項目について不備があり改善させた。</p> <p><input type="checkbox"/> e. 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であった為、検査員が修補指示を行った。</p>	<p>左記のいずれか該当……………d</p> <p>左記該当……………e</p>

工事成績採点表の考査項目の考査項目別運用表(土木工事編)

[記入方法]該当項目を「■」にする。

(検査員)

考査項目	細別	対象項目	評価項目	評価対象項目	評価方法
3.出来形及び出来ばえ	II.品質 3.鋼橋工事 (RC床版工事はコンクリート構造物に準ずる)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<p><b>【工場製作関係】</b></p> <p>1. 鋼材の種別を、品質を証明する書類又は現物により照合していることが確認できる。</p> <p>2. 溶接作業にあたり、作業員の技量確認を行っていることが確認できる。</p> <p>3. 溶接作業にあたり、溶接材料の使用区分が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</p> <p>4. 溶接施工に係る施工計画書を提出していることが確認できる。</p> <p>5. 孔開けによって生じたまくれが削り取られているなど、きめ細やかに製作していることが確認できる。</p> <p>6. 欠陥部の発生が見られないことが確認できる。</p> <p>7. 塗装作業にあたり、塗布面を十分に乾燥させて施工していることが確認できる。</p> <p>8. 素地調整を行う場合、第1種ケレン後4時間以内に金属前処理塗装を実施していることが確認できる。</p> <p>9. 塗料の空缶管理について、写真等で確実に空であることが確認できる。</p> <p>10. 塗料の品質が出荷証明書、塗料成績表により、製造年月日、ロット番号、色彩、数量が確認できる。</p> <p>11. 検査路、落橋防止装置、配水管等付属物のめっき・防食・塗装が適切であることが確認できる。</p> <p>12. その他 理由:( )</p> <p><b>【架設関係】</b></p> <p>13. クレーン、ベントなどの設置位置における地盤支持力を確認している。</p> <p>14. ボルトの締付確認が実施され、記録を保管していることが確認できる。</p> <p>15. ボルトの締付機及び測定機器のキャリブレーションを実施していることが確認できる。</p> <p>16. 高力ボルトの締め付けを、中心から外側に向かって行っていることが確認できる。</p> <p>17. 高力ボルトの品質が、証明書類で確認できる。</p> <p>18. ボルトのセットを適切に管理・保管しており、出荷時の品質が施工時まで保たれていることが確認できる。</p> <p>19. 支承及び支承受付構造が、設計図書を満足していることが確認できる。</p> <p>20. 支承の据付で、コンクリート面のチップング及び仕上げ面に水切勾配がついていることが確認できる。</p> <p>21. 沓座モルタルの材料・施工が適切である。(無収縮モルタルを使用、打設前に座面を湿潤状態にし、また確実に充填されるよう注意している)</p> <p>22. 架設にあたって、部材の応力と変形等を十分検討していることが確認できる。</p> <p>23. 架設に用いる仮設備及び架設用機械について品質、性能が確保できる規模及び強度を有していることが確認できる。(※架設計画書等による確認)</p> <p>24. 現場塗装部のケレン及び膜厚管理を適切に行っていることが確認できる。</p> <p>25. 現場塗装において、温度、湿度、風速等の確認を行っていることが確認できる。</p> <p>26. 伸縮装置の据付は、温度補正を行って位置を決定している。</p> <p>27. その他 理由:( )</p>	<p>評価値(%)=評価項目数/対象項目数</p> <p>対象項目が2項目以下……c</p> <p>評価値が95%以上………a</p> <p>評価値が90~95%未満……a'</p> <p>評価値が85~90%未満……b</p> <p>評価値が80~85%未満……b'</p> <p>評価値が60~80%未満……c</p> <p>評価値が60%未満………d</p> <p><input type="checkbox"/> d. 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であった為、監督員が文書で指示を行い改善された。</p> <p><input type="checkbox"/> d. 検査時に評価対象項目について不備があり改善させた。</p> <p>上記のいずれか該当………d</p> <p><input type="checkbox"/> e. 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であった為、検査員が修補指示を行った。</p> <p>上記該当………e</p>

工事成績採点表の考査項目の考査項目別運用表(土木工事編)

[記入方法]該当項目を「■」にする。

(検査員)

考査項目	細別	対象項目	評価項目	評価対象項目	評価方法
3.出来形及び出来ばえ	II.品質 4.塗装工事	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	1. 塗装作業にあたり塗布面を十分に乾燥させて施工していることが確認できる。	評価値(%)=評価項目数/対象項目数  対象項目が2項目以下……c 評価値が95%以上………a 評価値が90~95%未満……a' 評価値が85~90%未満……b 評価値が80~85%未満……b' 評価値が60~80%未満……c 評価値が60%未満………d
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	2. ケレンを入念に実施していることが確認できる。	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	3. 天候状況の確認、気温及び湿度の測定をおこない、塗装作業を行っていることが確認できる。	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	4. 塗料を使用前に攪拌し、容器の塗料を均一な状態にしてから使用していることが確認できる。	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	5. 鋼材表面及び被塗装面の汚れ、油膜等を除去し塗装を行なっていることが確認できる。	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	6. 塗料の空缶管理について写真等で確実に空であることが確認できる。	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	7. 塗り残し、ながれ、しわ等が無く塗装されていることが確認できる。	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	8. 溶接部、ボルトの接合部分、構造の複雑な部分について必要な塗膜厚を確保していることが確認できる。	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	9. 塗料の品質が出荷証明書、塗料成績表により、製造年月日、ロット番号、色彩、数量が確認できる。	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	10. その他 理由:( )	
5.護岸・根固 ・水制工事		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	1. 施工基面が平滑に仕上げられていることが確認できる。	□ d. 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であった為、監督員が文書で指示を行い改善された。  □ d. 検査時に評価対象項目について不備があり改善させた。  上記のいずれかが該当………d  □ e. 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であった為、検査員が修補指示を行った。  上記該当………e
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	2. 裏込材及び胴込めコンクリートの締固めを空隙が生じないように十分に行っていることが確認できる。	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	3. 緑化ブロック、石積(張)、法枠、かごマット等における材料のかみ合わせ又は連結が、裏込材の吸出しが無いよう行っていることが確認できる。	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	4. 石積(張)工において、大きさ及び重さが設計図書の仕様を満足していることが確認できる。	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	5. 護岸工の端部や曲線部の処理が適切であり、必要な強度及び、水密性を確保していることが確認できる。	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	6. 遮水シートが所定の幅で重ね合わせられ、端部処理が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	7. 植生工で、植生の種類、品質、配合及び養生が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	8. 根固工、水制工、沈床工、捨石工等において、材料の連結及びかみ合わせが設計図書の仕様を満足していることが確認できる。	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	9. 使用材料の品質が証明書類で確認できる。	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	10. 基礎工において、掘り過ぎが無く施工していることが確認できる。	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	11. コンクリートブロック等を損傷無く設置していることが確認できる。	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	12. 施工にあたって、床堀箇所の湧水及び滞水は、排除して施工していることが確認できる。	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	13. 埋戻し材料について、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	14. クラックが無い。クラックがある場合であっても、それらが進行性又は貫通クラックではなく、発生したクラックに対しては専門業者等の意見に基づき、適切な処置を行っている。	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	15. 丁張りを2重3重に設けるなど、法勾配、裏込め材の厚さの確保のために細心の注意をはらっている。	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	16. その他 理由:( )	

工事成績採点表の考査項目の考査項目別運用表(土木工事編)

[記入方法]該当項目を「■」にする。

(検査員)

考査項目	細別	対象項目	評価項目	評価対象項目	評価方法
3.出来形及び出来ばえ	II.品質 6.コンクリート橋工事 (PC 及び RC を対象)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	1. 設計図書に基づくコンクリートの配合試験及び試験練りを行っており、適切なコンクリートの品質(強度・w/c・最大骨材粒径・塩化物総量、単位水量、アルカリ骨材反応抑制等)が確認できる。 (※◎マークを取得していない工場で製造されたコンクリートや、◎マーク取得工場であっても JISA5308 以外のレディーミクストコンクリートを用いる場合に評価対象とする。)	評価値(%)=評価項目数/対象項目数  対象項目が 2 項目以下……c 評価値が 95%以上……………a 評価値が 90～95%未満……a' 評価値が 85～90%未満……b 評価値が 80～85%未満……b' 評価値が 60～80%未満……c 評価値が 60%未満……………d  <input type="checkbox"/> d. 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であった為、監督員が文書で指示を行い改善された。  <input type="checkbox"/> d. 検査時に評価対象項目について不備があり改善させた。  上記のいずれか該当……………d  <input type="checkbox"/> e. 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であった為、検査員が修補指示を行った。  上記該当……………e
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	2. コンクリート受入時に必要な試験を実施しており、気温、スランプ、空気量等の測定結果が確認できる。	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	3. コンクリート供試体が当該現場の供試体であることが確認できる。	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	4. 施工条件及び気象条件に適した運搬時間、打設時の投入高さ、締固時のバイブレータの機種、養生方法等が適切に行われている。(寒中及び暑中コンクリート等を含む)	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	5. 型枠、支保工の取り外し時のコンクリート強度が適正に管理されている。	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	6. 鉄筋の規格・品質が証明書類で確認できる。	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	7. 鉄筋の加工及び組立が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	8. コンクリート打設までの鉄筋の保管管理が適正であることが確認できる。	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	9. 溶接・圧接作業にあたり、作業員の技量確認を行っている。	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	10. スペーサーの材質が適正で、品質が確認できる。	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	11. スペーサーを適切に配置し、鉄筋のかぶりを確保している。	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	12. プレビーム桁のプレフレクション管理が適切に行われている。	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	13. 装置(機器)のキャリブレーションが実施されている。	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	14. 緊張及びグラウト管理が適切に実施されている。	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	15. プレストレス時のコンクリート強度が最大圧縮応力度の 1.7 倍以上であることが確認できる。	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	16. 構造物と同様な養生条件におかれた供試体を用いて圧縮強度の確認を行っている。	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	17. プレキャストブロックの損傷対策が適切である。(※取卸し時において、ブロック接合面等を十分保護している。)	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	18. プレキャストブロックの接続施工が適切である。	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	19. クラックが無い。クラックがある場合であっても、それらが進行性又は貫通クラックではなく、発生したクラックに対しては専門業者等の意見に基づき、適切な処置を行っている。	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	20. 支承及び支承取付構造が、設計図書を満足していることが確認できる。	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	21. 沓座モルタルの材料・施工が適切である。(無収縮モルタルを使用、打設前に座面を湿润状態にし、また確実に充填されるよう注意している)	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	22. 伸縮装置の据付は、温度補正を行って位置を決定している。	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	23. その他 理由:( )	

工事成績採点表の考査項目の考査項目別運用表(土木工事編)

[記入方法]該当項目を「■」にする。

(検査員)

考査項目	細別	対象項目	評価項目	評価対象項目	評価方法
3.出来形及び出来ばえ	II.品質 7.舗装工事	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	【路床・路盤工関係】	評価値(%)=評価項目数/対象項目数  対象項目が2項目以下……c 評価値が95%以上……a 評価値が90~95%未満……a' 評価値が85~90%未満……b 評価値が80~85%未満……b' 評価値が60~80%未満……c 評価値が60%未満……d  <input type="checkbox"/> d. 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であった為、監督員が文書で指示を行い改善された。  <input type="checkbox"/> d. 検査時に評価対象項目について不備があり改善させた。  上記のいずれか該当……d  <input type="checkbox"/> e. 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であった為、検査員が修補指示を行った。  上記該当……e
				1. 施工に伴い、CBR 試験、平板載荷試験及び安定処理の配合試験等を実施し、適切な舗装設計の基礎資料収集を行っている。	
				2. 路床盛土において、一層の仕上がり厚を 20cm 以下とし、各層ごとに締固めて施工していることが確認できる。	
				3. 路床盛土において、構造物の隣接箇所や狭い箇所における締固めが、タンバ等の小型締固め機械により施工していることが確認できる。	
				4. 路床安定処理において、添加材の材質・数量及び混合深さが確認でき、混合むらが無く均一であることが確認できる。	
				5. 路盤の施工に先立って、路床面、下層路盤面の浮き石及び有害物を除去してから施工していることが確認できる。	
				6. 使用材料が分離しておらず、仕上げ面が均一である。	
				7. 路床、路盤工のブルーローリングを行い、ローラーマークがないことが確認できる。	
				8. 路床・路盤工において現場密度や含水比等の管理を行い、適切な品質であることが確認できる。	
				9. 路上再生路盤工において、施工時の添加材料の噴出量等が設計どおりであることが資料で確認できる。	
				10. その他 理由:( )	
				【アスファルト舗装工関係】	
				11. 設計図書に基づく混合物の配合設計及び試験練りが行われ、適切な混合物の規格が確認できる。(アスファルト混合物の事前審査制度の適用工事は除く。)	
				12. 舗装工の施工にあたって、上層路盤面の浮石などの有害物を除去していることが確認できる。	
				13. 混合物の温度管理が、プラント出荷時・現場到着時・舗設時等で整理・記録されている。	
				14. 舗設後、交通開放を適切に行っている。	
				15. 舗装の各層の継ぎ目が標準仕様書に定められた数値以上ずらしている。	
				16. 目地の処理が標準仕様書に定められた通りであることが確認できる。	
				17. 気象条件に適した混合物の運搬方法、舗設作業(締め固め等)の配慮が行われている。	
				18. プライムコート、タックコートが均一に施工され散布量が確認できる写真、資料がある修。補指示を行った。	
				19. プライムコート、タックコートが、既設舗装断面及び隣接構造物側面に塗布されていることが確認できる。	
				20. 初期・二次・仕上げ転圧が適切に行われている。	
				21. 基準密度等の管理がされており品質の確認ができる。	
				22. 縦、横断段差処理を適切に行っていることが確認できる。	
				23. 仮区画線の施工が施工計画書のとおり適切に施工されたことが確認できる。	
				24. 路面切削において施工計画と施工結果が整合しており、資料で確認できる。	
25. 切削後の路面管理が舗設まで適切に管理された。					
26. その他 理由:( )					

工事成績採点表の考査項目の考査項目別運用表（土木工事編）

[記入方法]該当項目を「■」にする。

(検査員)

考査項目	細別	対象項目	評価項目	評価対象項目	評価方法	
3.出来形及び出来ばえ	Ⅱ.品質 7.舗装工事	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<p>【コンクリート舗装工関係】</p> <p>27. 設計図書に基づくコンクリートの配合試験及び試験練りを行っており、適切なコンクリートの品質(強度・w/c・最大骨材粒径・塩化物総量、単位水量、アルカリ骨材反応抑制等)が確認できる。 (※●マークを取得していない工場で製造されたコンクリートや、●マーク取得工場であっても JISA5308 以外のレディーミクストコンクリートを用いる場合に評価対象とする。)</p>		
				<input type="checkbox"/>		28. 舗装工の施工にあたって、上層路盤面の浮石などの有害物を除去していることが確認できる。
				<input type="checkbox"/>		29. コンクリート受入時に必要な試験を実施しており、気温、スランプ、空気量等の測定結果が確認できる。
				<input type="checkbox"/>		30. コンクリート供試体が当該現場の供試体であることが確認できる。
				<input type="checkbox"/>		31. 施工条件及び気象条件に適した運搬時間、打設方法、養生方法を適切に行っている。
				<input type="checkbox"/>		32. 材料が分離しないようコンクリートを敷き均している。
				<input type="checkbox"/>		33. チェアー、タイバー等の保管管理が適正であることが確認できる。
				<input type="checkbox"/>		34. 目地の設置位置・構造が適正であることが確認できる。
				<input type="checkbox"/>		35. その他 理由:( )
				<input type="checkbox"/>		<p>【共通】</p> <p>36. 区画線、標識、防護柵等交通安全施設の施工管理資料が整備されており、品質の確認ができる。</p>

工事成績採点表の考査項目の考査項目別運用表(土木工事編)

[記入方法]該当項目を「■」にする。

(検査員)

考査項目	細別	対象項目	評価項目	評価対象項目	評価方法
3.出来形及び出来ばえ	II.品質 8.法面工事	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<p>【共通】</p> <p>1. 施工基面が平滑に仕上げられている。</p> <p>2. 設計図書に示されている法勾配で適切に施工されている。</p> <p>3. 施工面の浮石除去・除根等が適切におこなわれている。</p> <p>4. 吹付け材料が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</p> <p>5. 吹付け技能工(ノズルマン・ガンマン)の技量が適切であることが確認できる。</p> <p>6. 法面の変状を常に監視し、施工している。</p> <p>【種子吹付工、客土吹付工、厚層基材吹付工関係】</p> <p>7. 土壌試験を実施し、施工に反映している。</p> <p>8. ネット等の重ね幅が10cm以上確保されている。</p> <p>9. 吹付け厚さが均等である。</p> <p>10. 吹付け厚さによって、必要な場合2層以上に分けて行っているのが確認できる。</p> <p>11. 法面端部付近にラウンディングを行い、法肩・端部に巻き込みを施工している。</p> <p>12. 基材の配合が適切であることが確認できる。</p> <p>13. 吹付完了後、保護養生が行われている。(養生材吹付、散水養生等)</p> <p>14. その他 理由:( )</p> <p>【コンクリート、又はモルタル吹付工関係】</p> <p>15. 金網の重ね幅が10cm以上確保されている。</p> <p>16. ラス張アンカー鉄筋が、仕様書のとおり施工されていることが確認できる。</p> <p>17. 吹付け厚さが均等である。</p> <p>18. 供試体が当該現場の供試体であることが確認できる。</p> <p>19. 跳ね返り材料が適切に処理されている。</p> <p>20. 吸水性の吹付け面の場合に、事前に吸水させていることが確認できる。</p> <p>21. 法面端部付近にラウンディングを行い、法肩・端部に巻き込みを施工している。</p> <p>22. 水抜管を湧水部や凹部に配慮して設置している。</p> <p>23. その他 理由:( )</p> <p>【打法枠工関係(現場打・プレキャスト・現場吹付等)】</p> <p>24. アンカーが適切に施工されていることが確認できる。(長さ、定着等)</p> <p>25. 配筋状況が適切である。</p> <p>26. 打継ぎ目の施工が適切である。(打継ぎ目は水洗いやセメントペーストにより付着性の向上を図っている。)</p> <p>27. 現場養生が適切に行われている。</p> <p>28. 供試体が当該現場の供試体であることが確認できる。</p> <p>29. アンカーと枠の連結や、枠のかみ合わせが適切である。</p> <p>30. 枠と法面間の処理が適切で、密着していることが確認できる。</p> <p>31. 枠内に空隙がないことや、中詰め材が沈下・流出していないことが確認できる。</p> <p>32. 層間に剥離がないことが確認できる。</p> <p>33. 跳ね返り材料が適切に処理されている。</p> <p>34. その他 理由:( )</p>	<p>評価値(%)=評価項目数/対象項目数</p> <p>対象項目が2項目以下……c</p> <p>評価値が95%以上……a</p> <p>評価値が90~95%未満……a'</p> <p>評価値が85~90%未満……b</p> <p>評価値が80~85%未満……b'</p> <p>評価値が60~80%未満……c</p> <p>評価値が60%未満……d</p> <p><input type="checkbox"/> d. 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であった為、監督員が文書で指示を行い改善された。</p> <p><input type="checkbox"/> d. 検査時に評価対象項目について不備があり改善させた。</p> <p>上記のいずれか該当……d</p> <p><input type="checkbox"/> e. 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であった為、検査員が修補指示を行った。</p> <p>上記該当……e</p>

工事成績採点表の考査項目の考査項目別運用表(土木工事編)

[記入方法]該当項目を「■」にする。

(検査員)

考査項目	細別	対象項目	評価項目	評価対象項目	評価方法
3.出来形及び出来ばえ	II.品質 9.植栽工事	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	1. 土壌硬度試験及び土壌試験(PH)を実施し施工に反映している。	評価値(%)=評価項目数/対象項目数  対象項目が2項目以下……c 評価値が95%以上………a 評価値が90~95%未満……a' 評価値が85~90%未満……b 評価値が80~85%未満……b' 評価値が60~80%未満……c 評価値が60%未満………d
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	2. 施肥・かん水等、活着管理が適切に行われている。	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	3. 樹木等に損傷、はちくずれ等がなく保護養生が適切に行われている。	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	4. 樹木等の生育に害のあるものは除去されている。	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	5. 余剰枝の剪定、整形その他必要な手入れが行われている。	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	6. 植栽する樹木に応じて、余裕のある植穴を掘り、植穴底部を耕していることが確認できる。	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	7. 肥料が直接樹木の根にふれないよう均一に施肥されている。	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	8. 樹木、地被類、つる性植物等には樹幹の割れ、病害虫などが無いことが確認できると共に、仕様書に基づいた植え付けが適切になされている。	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	9. 埋戻土が設計図書に基づいた性状であり、小石・ごみ・雑草・夾雑物を含まない適切なものであることが確認できる。	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	10. 支柱・添え木をぐらつかないように設置していることが確認できる。	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	11. その他 理由:( )	
10.建築工事 (土木関連)		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	1. 材料の品質及び形状が設計図書等との適切性が確認でき、証明書が整備されている。	□ d. 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であった為、監督員が文書で指示を行い改善された。  □ d. 検査時に評価対象項目について不備があり改善させた。
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	2. 部品の品質及び形状が設計図書等との適切性が確認でき、証明書が整備されている。	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	3. 機器等(設備等)の機能が設計図書等との適切性が確認でき、証明書が整備されている。	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	4. 躯体の品質及び形状が設計図書等との適切性が確認でき、建造物の品質が確保されている。	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	5. 室内の塵芥処理等が適切に行われ、納まりの事前検討も十分実施され良質な施工が伺える。	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	6. その他 理由:( )	
11.標識・ 区画線等設置工事・ 防護柵(網)工事		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	1. 防護柵設置要綱、視線誘導標設置要綱、道路標識ハンドブック等の規定を満足していることが確認できる。	上記のいずれか該当………d  □ e. 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であった為、検査員が修補指示を行った。  上記該当………e
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	2. 防護柵等の床掘りの仕上り面において、地山の乱れや不陸が生じないよう施工していることが確認できる。	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	3. 防護柵等の基礎工の施工にあたって、無筋及び鉄筋コンクリートの規定を満足していることが確認できる。	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	4. 防護柵等の支柱の施工にあたって、既設舗装面への影響が無いよう施工していることが確認できる。	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	5. 基礎設置箇所について地盤の地耐力を把握して、施工していることが確認できる。	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	6. 防護柵の支柱の根入長が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	7. ガードケーブルを支柱に取り付ける場合、設計図書に定められた所定の張力を与えているのが確認できる。	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	8. ガードケーブルの端末支柱を土中に設置する場合、打設したコンクリートが設計図書に定められた強度以上であることが確認できる。	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	9. ペイント式(常温式)区画線に使用するシンナーの使用量が、10%以下であることが確認できる。	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	10. 区画線の厚さが見本等で設計図書の仕様を満足していることが確認できる。	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	11. 区画線の施工にあたって設置路面の水分、泥、砂じん及びほこりを取り除いて行っていることが確認できる。	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	12. 区画線を消去の場合、表示材(塗料)のみの除去となり、路面への影響が最小限となっていることが確認できる。	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	13. プライマーの施工にあたって、路面に均等に塗布していることが確認できる。	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	14. 区画線の材料が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	15. その他 理由:( )	

工事成績採点表の考査項目の考査項目別運用表(土木工事編)

[記入方法]該当項目を「■」にする。

(検査員)

考査項目	細別	対象項目	評価項目	評価対象項目	評価方法
3.出来形及び出来ばえ	II.品質 12.基礎工事 (地盤改良等を含む)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<p>【杭関係(コンクリート・鋼管・鋼管井筒、場所打、深礎等)】</p> <p>1. 杭等の規格・品質を確認できる資料が整理されている。</p> <p>2. 杭の運搬・保管状態が適切で、損傷及び補修跡がないことが確認できる。</p> <p>3. 杭芯位置、水平度、鉛直度等が設計図書を満足していることが確認できる。</p> <p>4. 配筋、スペーサーの配置及びコンクリート打設等が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</p> <p>5. ライナープレートの組み立にあたり、偏心と歪みに配慮して施工していることが確認できる。</p> <p>6. 溶接工の技量が確認でき、溶接作業環境が適切である。</p> <p>7. 溶接の品質管理に関して、組立・加工精度が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</p> <p>8. 場所打杭について、トレミー管をコンクリート内に2m以上挿入し施工していることが確認できる。</p> <p>9. 掘削深度、排出土砂、孔内水位の変動及び安定液を用いる場合の孔内の安定液濃度並びに比重等が、設計図書を満足していることが確認できる。</p> <p>10. 裏込材注入の圧力などが施工記録により確認できる。</p> <p>11. スライムの除去を確実にやっていることが確認できる。</p> <p>12. 支持地盤に達していることが、掘削深さ、掘削土砂等により確認できる。</p> <p>13. 杭先端処理が適切に行われていることを示す資料が確認できる。</p> <p>14. 強度確認、セメントミルクの比重管理などの品質に係わる事項の管理資料を整理していることが確認できる。</p> <p>15. 既成杭の打止め管理の方法及び場所打ち杭の施工管理方法が整備されており、その記録を整理していることが確認できる。</p> <p>16. 杭頭処理において、杭本体を損傷していないことが確認できる。</p> <p>17. その他 理由:( )</p> <p>【地盤改良関係(サンド・砕石ドレーン、ペーパードレン、サンドコンパクションパイル、ロッドコンパクション等含む)】</p> <p>18. 杭芯位置、水平度、鉛直度等が設計図書を満足していることが確認でき、削孔機械の据付が安定している。</p> <p>19. 改良材の品質・使用量が管理され、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</p> <p>20. 改良材の配合、比重、噴出量、強度等の管理資料を整理していることが確認できる。</p> <p>21. 事前に土質試験等を実施し、改良材の選定、必要量の設定等を行っていることが確認できる。</p> <p>22. 施工箇所が均一に改良されているとともに、十分な強度及び支持力を確保していることが確認できる。</p> <p>23. 施工管理方法が施工計画書等に記載され、整備されている。</p> <p>24. 施工記録が整理され、適切な施工が確認できる。</p> <p>25. 改良体の形状寸法が設計図書を満足していることが確認できる。</p> <p>26. 控工の施工上の注意事項(仕様書による)が守られている。</p> <p>27. その他 理由:( )</p>	<p>評価値(%)=評価項目数/対象項目数</p> <p>対象項目が2項目以下……c</p> <p>評価値が95%以上………a</p> <p>評価値が90~95%未満……a'</p> <p>評価値が85~90%未満……b</p> <p>評価値が80~85%未満……b'</p> <p>評価値が60~80%未満……c</p> <p>評価値が60%未満………d</p> <p><input type="checkbox"/> d. 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であった為、監督員が文書で指示を行い改善された。</p> <p><input type="checkbox"/> d. 検査時に評価対象項目について不備があり改善させた。</p> <p>上記のいずれか該当………d</p> <p><input type="checkbox"/> e. 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であった為、検査員が修補指示を行った。</p> <p>上記該当………e</p>

工事成績採点表の考査項目の考査項目別運用表(土木工事編)

[記入方法]該当項目を「■」にする。

(検査員)

考査項目	細別	対象項目	評価項目	評価対象項目	評価方法
3.出来形及び出来ばえ	II.品質 13.下水道工事	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<p>【共通】</p> <p>1. マンホール用品の規格・品質がミルシートで確認できる。</p> <p>2. 管渠の規格・品質がミルシートで確認できる。</p> <p>3. 設計図書に基づくコンクリートの配合試験及び試験練りを行っており、適切なコンクリートの品質(強度・w/c・最大骨材粒径・塩化物総量、単位水量、アルカリ骨材反応抑制等)が確認できる。 (※◎マークを取得していない工場で製造されたコンクリートや、◎マーク取得工場であっても JISA5308 以外のレディーミクストコンクリートを用いる場合に評価対象とする。)</p> <p>4. コンクリート受入時に必要な試験を実施しており、気温、スランプ、空気量等の測定結果が確認できる。</p> <p>5. コンクリート供試体が当該現場の供試体であることが確認できる。</p> <p>6. 施工条件及び気象条件に適した運搬時間、打設時の投入高さ、締固時のパイプレータの機種、養生方法等が適切に行われている。(寒中及び暑中コンクリート等を含む)</p> <p>7. 施工基盤面が良好であることが確認できる。</p> <p>8. 管渠の接合状態が良好であることが確認できる。</p> <p>【開削工】</p> <p>9. 締固めを適切な条件で施工しており、管の周辺に空隙が生じていない。</p> <p>10. 埋め戻し材料の品質が確認できる。</p> <p>11. アスファルト混合物の温度管理が、プラント出荷時・現場到着時・舗設時等で整理・記録されている。</p> <p>12. その他 理由:( )</p> <p>【推進工】</p> <p>13. 測量及び観測結果を毎日整理し、それに基づいた施工が行われていることが確認できる。</p> <p>14. 常に切羽及び地表面の状態を観測して施工されていることが確認できる。</p> <p>15. 推進作業等がデータで確認できる。</p> <p>16. 裏込めの注入状況が確認できる。</p> <p>17. 地盤改良工の施工管理状況がデータで確認できる。</p> <p>18. その他 理由:( )</p> <p>【シールド工】</p> <p>19. セグメントの規格・品質がミルシートで確認できる。</p> <p>20. 溶接作業にあたり、作業員の技量確認を行っている。</p> <p>21. 二次コンクリート打設前にあたり、付着物除去の為十分な水洗清掃を行っていることが確認できる。</p> <p>22. 常に切羽及び地表面の状態を確認して施工されていることが確認できる。</p> <p>23. シールド推進作業等がデータで確認できる。</p> <p>24. 裏込め注入状況がデータで確認できる。</p> <p>25. 地盤改良工の施工管理状況がデータで確認できる。</p> <p>26. その他 理由:( )</p>	<p>評価値(%)=評価項目数/対象項目数</p> <p>対象項目が2項目以下……c</p> <p>評価値が95%以上………a</p> <p>評価値が90~95%未満……a'</p> <p>評価値が85~90%未満……b</p> <p>評価値が80~85%未満……b'</p> <p>評価値が60~80%未満……c</p> <p>評価値が60%未満………d</p> <p><input type="checkbox"/> d. 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であった為、監督員が文書で指示を行い改善された。</p> <p><input type="checkbox"/> d. 検査時に評価対象項目について不備があり改善させた。</p> <p>上記のいずれか該当………d</p> <p><input type="checkbox"/> e. 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であった為、検査員が修補指示を行った。</p> <p>上記該当………e</p>

工事成績採点表の考査項目の考査項目別運用表(土木工事編)

[記入方法]該当項目を「■」にする。

(検査員)

考査項目	細別	対象項目	評価項目	評価対象項目	評価方法
3.出来形及び出来ばえ	II.品質 14.維持工事 (清掃工、付属物工、除雪、応急処理等)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	1. 使用する材料の品質・形状等が適切であり、かつ現場において材料確認を適宜・的確に行っているか確認できる。	評価値(%)=評価項目数/対象項目数  対象項目が2項目以下……c 評価値が95%以上……a 評価値が90~95%未満……a' 評価値が85~90%未満……b 評価値が80~85%未満……b' 評価値が60~80%未満……c <input type="checkbox"/> d. 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であった為、監督員が文書で指示を行い改善された。 <input type="checkbox"/> d. 検査時に評価対象項目について不備があり改善させた。 上記のいずれか該当……d  <input type="checkbox"/> e. 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であった為、検査員が修補指示を行った。 上記該当……e
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	2. 構造物の劣化状況をよく把握して、適切な対策を施していることが確認できる。	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	3. 監督員の指示事項に対して、現地状況を勘案し、施工方法や構造についての提案を行うなど積極的に取り組んでいることが確認できる。	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	4. 緊急的な作業において、迅速かつ適切に対応していることが確認できる。	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	5. その他 理由:( )	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	6. その他 理由:( )	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	7. その他 理由:( )	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	8. その他 理由:( )	
	15.修繕工事 (橋脚補強、耐震補強、落橋防止等)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	1. 使用する材料の品質・形状等が適切であり、かつ現場において材料確認を適宜・的確に行っていることが確認できる。	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	2. 構造物の劣化状況をよく把握して、適切な対策を施していることが確認できる。	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	3. 監督員の指示事項に対して、現地状況を勘案し、施工方法や構造についての提案を行うなど積極的に取り組んでいることが確認できる。	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	4. 施工後のメンテナンスに対する提言や修繕サイクル等を勘案した提案等を行っていることが確認できる。	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	5. その他 理由:( )	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	6. その他 理由:( )	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	7. その他 理由:( )	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	8. その他 理由:( )	

工事成績採点表の考査項目の考査項目別運用表(土木工事編)

[記入方法]該当項目を「■」にする。

(検査員)

考査項目	細別	対象項目	評価項目	評価対象項目	評価方法
3.出来形及び出来ばえ	II.品質 16.機械設備工事	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	1. 材料、部品の品質照合の書類(現物照合)を整理し品質の確認ができる。	評価値(%)=評価項目数/対象項目数  対象項目が2項目以下……c 評価値が95%以上………a 評価値が90~95%未満……a' 評価値が85~90%未満……b 評価値が80~85%未満……b' 評価値が60~80%未満……c 評価値が60%未満………d  <input type="checkbox"/> d. 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であった為、監督員が文書で指示を行い改善された。  <input type="checkbox"/> d. 検査時に評価対象項目について不備があり改善させた。  上記のいずれか該当………d  <input type="checkbox"/> e. 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であった為、検査員が修補指示を行った。  上記該当………e
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	2. 設備の機能及び性能が、設計・承諾図書のとおり確保され、品質の確認ができる。	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	3. 設計図書の仕様を踏まえた詳細設計を行い、承諾図書として提出していることが確認できる。	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	4. 機器の機能及び性能に係わる成績書が整理され、品質の確認ができる。	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	5. 溶接管理基準の品質管理項目について、品質管理書類を整理し品質の確認ができる。	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	6. 塗装管理基準の品質管理項目について、品質管理書類を整理し品質の確認ができる。	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	7. 操作制御設備について、操作スイッチや表示灯が承諾図書のとおり配置され、操作性にすぐれていることが確認できる。	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	8. 操作制御設備の安全装置及び保護装置の機能・性能確認試験について、試験書類を整理し品質の確認ができる。	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	9. 電気配線、配管が承諾図書のとおり敷設していることが確認できる。	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	10. 機器の配置が点検しやすいよう工夫していることが確認できる。	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	11. 設備の構造や機器の配置が、交換頻度の高い部品等の交換作業を容易にできるよう工夫していることが確認できる。	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	12. 二次コンクリートの配合試験及び試験練りを実施し、試験成績表にまとめていることが確認できる。	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	13. バルブ類の平時の状態を示すラベルなどが見やすい状態で表示していることが確認できる。	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	14. 計器類に運転時の適用範囲を見やすく表示していることが確認できる。	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	15. 回転部や高温部等の危険箇所に表示または防護をしていることが確認できる。	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	16. 構造物劣化状況をよく把握して、適切な対策を施していることが確認できる。	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	17. 現地状況を勘案し、施工方法等についての提案を行うなど積極的に取り組んでいることが確認できる。	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	18. 設備・機器及び付属物の取り付け等が設計・承諾図書に基づき施工されていることが確認できる。	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	19. 完成図書・取扱説明書を工夫し作成(改造・更新・修繕の場合は修正)していることが確認できる。 (※編集手法について評価する)	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	20. 完成図書・取扱説明書において、設備の機能並びに操作方法が容易に判別できる。	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	21. 完成図書・取扱説明書において、単体製品の製造年月日及び製造者が判別できる資料を整備している。	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	22. 完成図書・取扱説明書において、部品等の点検方法やその時期、交換を要する部品や交換方法及び場所について、まとめている。	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	23. その他 理由:( )	

工事成績採点表の考査項目の考査項目別運用表(土木工事編)

[記入方法]該当項目を「■」にする。

(検査員)

考査項目	細別	対象項目	評価項目	評価対象項目	評価方法	
3.出来形及び出来ばえ	II.品質 17.電気設備工事 (照明設備・受変電設備・その他類似工事含む)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	1. 製作着手前に、品質や性能の確保にかかる技術検討が実施していることが確認できる。 2. 材料・部品の品質照合の結果が品質保証書(現物照合を含む)で確認でき、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 3. 溶接・塗装管理が設計書のとおり実施され、内容が確認でき欠陥がなく満足している。 4. 機器の品質、機能及び性能が設計図書を満足して、成績書にまとめられていることが確認できる。 5. 設備の構造において、点検や消耗品の取替え作業が容易にできるよう工夫していることが確認できる。 6. 設備・機器及び付属物の取り付け等が設計・承諾図書に基づき施工されていることが確認できる。 7. 操作スイッチや表示灯が設計図書のとおり配置され、操作性に優れていることが確認できる。 8. ケーブル及び配管の接続などの作業が、施工計画書に記載された手順に沿って行われ、不具合が無いことが確認できる。 9. 設備の機能及び性能が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 10. 操作制御関係の機能及び性能が、設計図書の仕様を満足しているとともに、必要な安全装置及び保護装置の作業が確認できる。 11. 設備の総合性能が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 12. 現場条件によって機器(製品)の機能及び性能が確認できない場合において、工場試験などで確認していることが確認できる。 13. 完成図書・取扱説明書を工夫し作成(改造・更新・修繕の場合は修正)していることが確認できる。(編集手法について評価する) 14. 完成図書・取扱説明書において、設備の機能並びに操作方法が容易に判別できる。 15. 完成図書・取扱説明書において、単体製品の製造年月日及び製造者が判別でき、部品等の点検方法やその時期、交換を要する部品や交換方法及び場所について、まとめている。 16. その他 理由:( )	評価値(%)=評価項目数/対象項目数  対象項目が2項目以下……c 評価値が95%以上……a 評価値が90~95%未満……a' 評価値が85~90%未満……b 評価値が80~85%未満……b' 評価値が60~80%未満……c 評価値が60%未満……d	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/> d. 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であった為、監督員が文書で指示を行い改善された。  <input type="checkbox"/> d. 検査時に評価対象項目について不備があり改善させた。  上記のいずれかが該当……d  <input type="checkbox"/> e. 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であった為、検査員が修補指示を行った。  上記該当……e	
18.通信・弱電 ・その他類似工事		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		1. 設計図書に定められている品質管理を実施していることが確認できる。 2. 材料及び構成部品の品質及び形状について、設計図書等と適合が確認できる証明書等を整備していることが確認できる。 3. 溶接・塗装管理が設計書のとおり実施され、内容が確認でき欠陥がなく満足している。 4. 材料の品質照合の結果が、品質保証書等(現物照合を含む)で確認でき、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 5. 設備、機器の品質、機能及び性能が、成績書等で確認でき、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 6. ケーブル及び配管の接続などの作業が、施工計画書に記載された手順に沿って行われ、不具合が無いことが確認できる。 7. 設備全体としての運転性能が所定の能力を満足していることが確認できる。 8. 設備の構造において、点検や消耗品の取替え作業が容易にできるよう工夫していることが確認できる。 9. 設備・機器及び付属物の取り付け等が設計・承諾図書に基づき施工されていることが確認できる。 10. 設備全体及び各機器において、設計図書に規定した品質及び性能を工場試験記録により確認できる。 11. 完成図書・取扱説明書を工夫し作成(改造・更新・修繕の場合は修正)していることが確認できる。(※編集手法について評価する) 12. 完成図書・取扱説明書において、設備の機能並びに操作方法が容易に判別できる。 13. 完成図書・取扱説明書において、単体製品の製造年月日及び製造者が判別でき、部品等の点検方法やその時期、交換を要する部品や交換方法及び場所について、まとめている。 14. その他 理由:( )	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			

工事成績採点表の考査項目の考査項目別運用表(土木工事編)

[記入方法]該当項目を「■」にする。

(検査員)

考査項目	細別	対象項目	評価項目	評価対象項目	評価方法
3.出来形及び出来ばえ	II.品質 19.水道工事	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<p>【共通】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 材料の品質規格証明書が整備されている。</li> <li>2. 使用材料の検収や保管等の管理が適切であり、写真等で明確に確認できる。</li> <li>3. コンクリート打設時の必要な供試体を採取し、強度・スランプ・空気量等が確認できる。</li> <li>4. コンクリート供試体が当該現場の供試体であることが確認できる。</li> <li>5. 施工条件及び気象条件に適した運搬時間、打設時の投入高さ、締固時のバイブレータの機種、養生方法等が適切に行われている。(寒中及び暑中コンクリート等を含む)</li> <li>6. 施工基盤面が良好であることが確認できる。</li> <li>7. 管の接合状態が良好であることが確認できる。</li> <li>8. 耐震管等の接合管理で全口数について継手チェックシートに記録し写真等で確認できる。</li> <li>9. 布設後の位置を明らかにする出来形図が作成されている。</li> <li>10. 管切断及び挿し口加工が適切に行われていることが確認できる。</li> <li>11. 管内には土砂、ゴミ等が残っていない。</li> <li>12. 防食措置が適切に施工され、そのことが容易に工事写真から判断できる。</li> <li>13. 鉄筋の加工及び組立、かぶり設計図書仕様を満足していることが確認でき、鉄筋固定方法が適切である。</li> <li>14. スペースの品質及び個数が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</li> <li>15. 型枠、支保工の取り外しが適切に管理されている。</li> <li>16. 給水管等取付工が、仕様書に基づき適切に施工されていることが確認できる。</li> </ol> <p>【開削工】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>17. 締固めを適切な条件で施工しており、管の周辺に空隙が生じていない。</li> <li>18. 埋め戻し材料の品質が確認できる。</li> <li>19. アスファルト混合物の温度管理が、プラント出荷時・現場到着時・舗設時等で整理・記録されている。</li> <li>20. 管の吊り込み、据付け等に十分注意を払っていることが確認できる。</li> <li>21. 埋め戻しの転圧が仕様書どおり施工されている。</li> <li>22. 掘削時に水替工が適切に実施され、管内が清潔に保たれていることが確認できる。</li> <li>23. 土留工が適切に実施されていることが確認できる。</li> <li>24. その他 理由:( )</li> </ol>	<p>評価値(%)=評価項目数/対象項目数</p> <p>対象項目が2項目以下……c                  評価値が95%以上……a                  評価値が90～95%未満……a'                  評価値が85～90%未満……b                  評価値が80～85%未満……b'                  評価値が60～80%未満……c                  評価値が60%未満……d</p>

工事成績採点表の考査項目の考査項目別運用表(土木工事編)

[記入方法]該当項目を「■」にする。

(検査員)

考査項目	細別	対象項目	評価項目	評価対象項目	評価方法
3.出来形及び出来ばえ	II.品質 22.水道工事	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<p>【水管橋】</p> <p>25. 施工計画書に使用資材の品質が記載され、実使用資材と一致することが確認できる。</p> <p>26. 施工計画書に溶接棒等の品質、施工時の電圧管理方法について記載され、現場施工と一致していることが確認できる。</p> <p>27. 管材入荷時に水協検査証の提出がある。</p> <p>28. 管材等、工事現場に入った材料の管理が適切である。</p> <p>29. 溶接等の作業は有資格者が実施していることが確認できる。</p> <p>30. 管内外面塗装傷の補修が確実に行われ、検査時に未補修がない。</p> <p>31. 溶接作業、塗料作業、メカ接合作業等の重要作業については自社管理が実施されている。</p> <p>32. 現場塗装部のケレン及び膜厚管理を適切に行っていることが確認できる。</p> <p>33. 現場溶接のレントゲン検査等について、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</p> <p>34. その他 理由:( )</p> <p>【推進工】</p> <p>35. 測量及び観測結果を毎日整理し、それに基づいた施工が行われていることが確認できる。</p> <p>36. 常に切羽及び地表面の状態を観測して施工されていることが確認できる。</p> <p>37. 推進作業等がデータで確認できる。</p> <p>38. 裏込めの注入状況が確認できる。</p> <p>39. 地盤改良工の施工管理状況がデータで確認できる。</p> <p>40. 推進管のクラックや変形がなく、継ぎ手・クラウドホール等からの漏水がない。</p> <p>41. 挿入管と推進管との離隔、空隙への充填材・施工状況・充填度が適切である。</p> <p>42. その他 理由:( )</p> <p>【シールド工】</p> <p>43. セグメントの規格・品質がミルシートで確認できる。</p> <p>44. 溶接作業にあたり、作業員の技量確認を行っている。</p> <p>45. 二次コンクリート打設前にあたり、付着物除去のための十分な水洗清掃を行なっていることが確認できる。</p> <p>46. 常に切羽及び地表面の状態を確認して施工されていることが確認できる。</p> <p>47. シールド推進作業等がデータで確認できる。</p> <p>48. 裏込め注入状況がデータで確認できる。</p> <p>49. 地盤改良工の施工管理状況がデータで確認できる。</p> <p>50. その他 理由:( )</p> <p><input type="checkbox"/> d. 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。</p> <p><input type="checkbox"/> d. 検査時に評価対象項目について不備があり改善させた。</p> <p><input type="checkbox"/> e. 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。</p>	<p>左記のいずれかに該当……………d</p> <p>左記該当……………e</p>

工事成績採点表の審査項目の審査項目別運用表（土木工事編）

[記入方法]該当項目を「■」にする。

(検査員)

審査項目	細別	対象項目	評価項目	評価対象項目	評価方法
3.出来形及び出来ばえ	II.品質 20.上記以外の工事 又は合併工事	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	1. その他 理由:( )	評価値(%)=評価項目数/対象項目数  対象項目が2項目以下……c 評価値が <sup>g</sup> 95%以上……a 評価値が90~95%未満……a' 評価値が85~90%未満……b 評価値が80~85%未満……b' 評価値が60~80%未満……c 評価値が60%未満……d  左記のいずれかに該当……d  左記該当……e
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	2. その他 理由:( )	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	3. その他 理由:( )	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	4. その他 理由:( )	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	5. その他 理由:( )	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	主たる工種の審査事項で審査し、最大審査項目は5項目とする。	
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	d. 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。			
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	d. 検査時に評価対象項目について不備があり改善させた。			
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	e. 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。			

工事成績採点表の考査項目の考査項目別運用表(土木工事編)

[記入方法]該当項目を「■」にする。

(検査員)

考査項目	細別	対象項目	評価項目	評価対象項目	評価方法
3.出来形及び出来ばえ	Ⅲ.出来ばえ 1.コンクリート 構造物工事	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	1. コンクリート構造物の表面状態が良い。	評価値(%)=評価項目数/対象項目数  対象項目が2項目以下……c 評価値が90%以上……a 評価値が80~90%未満……b 評価値が60~80%未満……c 評価値が60%未満……d
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	2. コンクリート構造物の通りが良い。	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	3. 天端、端部等の仕上がりが良い。	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	4. クラック(ヘアクラック含む)がない。	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	5. 漏水がない。	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	6. 全体的な美観が良い	
	2.二次製品 構造物工事	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	1. 構造物の通りが良い。	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	2. 材料の連結、かみ合わせが良い。	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	3. 天端仕上げ、端部仕上げ等が良い。	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	4. 製品に割れ、欠けがない。	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	5. 漏水がない。	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	6. 周辺地形・他構造物等との取り合いが良い。	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	7. 全体的な美観が良い。	
	3.鋼橋工事	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	1. 表面に補修箇所が無い。	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	2. 部材表面に傷及び、錆が無い。	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	3. 溶接に均一性がある。	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	4. 塗装に均一性がある。	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	5. 支承部の仕上げが良い。	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	6. 付属物工の取り付けが良い。	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	7. 全体的な美観が良い。	
4.塗装工事	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	1. 塗装の均一性が良い。		
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	2. 細部まできめ細やかな施工がされている。		
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	3. 補修箇所が無い。		
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	4. ケレンの施工状況が良好である。		
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	5. 周辺への影響が無かった。		
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	6. 全体的な美観が良い。		
5.護岸・根固 ・水制工事	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	1. 通りが良い。		
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	2. 材料のかみ合わせが良い。		
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	3. 天端、端部の仕上げが良い。		
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	4. 既設構造物とのすりつけがよい。		
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	5. クラックがない。		
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	6. 製品に割れ、欠けがない。		
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	7. 全体的な美観が良い。		

工事成績採点表の考査項目の考査項目別運用表(土木工事編)

[記入方法]該当項目を「■」にする。

(検査員)

考査項目	細別	対象項目	評価項目	評価対象項目	評価方法
3.出来形及び出来ばえ	Ⅲ.出来ばえ 6.コンクリート 橋上部工事 (PC 及び RC を対象)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	1. コンクリート構造物の表面状態が良い。	評価値(%)=評価項目数/対象項目数  対象項目が2項目以下……c 評価値が90%以上……a 評価値が80~90%未満……b 評価値が60~80%未満……c 評価値が60%未満……d
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	2. コンクリート構造物の通りが良い。	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	3. 天端及び端部の仕上げ等が良い。	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	4. 支承部の仕上げが良い。	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	5. クラック(ヘアクラック含む)がない。	
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	6. 付属土工の取付けが良い			
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	7. 全体的な美観が良い。			
7.舗装工事		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	1. 舗装の平坦性が良い。	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	2. 構造物の通りが良い。	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	3. 端部処理が良い。	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	4. 構造物へのすりつけ等が良い。	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	5. 雨水処理が良い。	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	6. 全体的な美観が良い。	
8.法面工事		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	1. 通りがよい。	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	2. 植生、吹付等の状態が均一である。	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	3. 発芽・生育状態が良い。	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	4. 吹き付け表面の割れが無い。	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	5. 端部処理が良い。	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	6. コンクリート構造物の表面状態がよい。	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	7. クラックがない。	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	8. 全体的な美観が良い。	
9.植栽工事		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	1. 樹木の活着状況が良い。	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	2. 個々の樹木整姿が良い。	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	3. 植え付け面の仕上げが良い。	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	4. 支柱の取り付けがきめ細かく施工されている。	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	5. 支柱の取り付けが堅固である。	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	6. 全体的な美観が良い。	
10.建築工事 (土木関連)		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	1. 建物の通り、形状が良い。	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	2. 仕上げの均一性、平坦性が良い。	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	3. 機能面での配慮が適切である。	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	4. 防水の納まりが良好である。	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	5. 関連工事との取り合いが良い。	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	6. 全体的な美観が良い。	

工事成績採点表の考査項目の考査項目別運用表(土木工事編)

[記入方法]該当項目を「■」にする。

(検査員)

考査項目	細別	対象項目	評価項目	評価対象項目	評価方法
3.出来形及び出来ばえ	Ⅲ.出来ばえ 11.標識・区画線等 設置工事、 防護柵(網)工事	□	□	【防護柵(網)工事】	評価値(%)=評価項目数/対象項目数  対象項目が2項目以下……c 評価値が90%以上………a 評価値が80~90%未満…b 評価値が60~80%未満…c  評価値が60%未満………d
				1. 通りが良い。	
				2. 端部処理が良い。	
	3. 部材表面に傷及び、錆がない。				
				4. 既設構造物等とのすりつけが良い。	
				5. きめ細やかに施工がなされている。	
				6. 全体的な美観が良い。	
				【標識工事】	
				1. 設置位置に配慮がある。	
				2. 標識板の向き、並びに角度、及びその支柱の通りが良い。	
				3. 部材表面に傷及び、錆がない。	
				4. 標識板の支柱に変色が無い。	
				5. 支柱基礎工周辺の仕上がりが入念に埋め戻されている。	
				6. 全体的な美観が良い。	
				【区画線設置工事】	
				1. 塗料の塗布が均一である。	
				2. 視認性が良い。	
				3. 接着状態が良い。	
				4. 施工前の清掃が入念に実施されている。	
				5. 通りが良い。	
				6. 全体的な美観が良い。	
	12.基礎工事 (地盤改良等を含む)	□	□	1. 土工関係の仕上げが良い。	
		□	□	2. 通りが良い。	
		□	□	3. 端部及び天端の仕上げが良い。	
		□	□	4. 施工管理記録などから不可視部分の出来ばえの良さがうかがえる。	
		□	□	5. 施工箇所の整理がされている。(例:改良材/剤や泥等の散乱がない)	

工事成績採点表の考査項目の考査項目別運用表(土木工事編)

[記入方法]該当項目を「■」にする。

(検査員)

考査項目	細別	対象項目	評価項目	評価対象項目	評価方法
3.出来形及び出来ばえ	Ⅲ.出来ばえ 13.下水道工事	□	□	【共通】	評価値(%)=評価項目数/対象項目数  対象項目が2項目以下……c 評価値が90%以上……a 評価値が80～90%未満……b 評価値が60～80%未満……c 評価値が60%未満……d
				1. 通りが良い。	
		□	□	2. 漏水がない。	
□		□	3. クラックがない。		
□		□	4. マンホール天端と路面とのすりつけが良い。		
□		□	5. マンホールのインバートの仕上げが良い。端部処理が良い。		
□		□	6. 残土等は適切に処理されている。		
□		□	【管路】		
□		□	7. 管路の割れ、欠けがない。		
□		□	8. 継ぎ手面にパッキンの設置が確実になされている。		
□		□	9. 管路間の目違い、段差が少ない。		
□		□	10. 管路継ぎ手部ボルトの締め付け状況がよい。		
□		□	11. 全体的な美観が良い。		
□		□	【シールド】		
□		□	12. RC セグメントの割れ、欠けがない。		
□		□	13. 継ぎ手面の防水が確実になされている。		
□	□	14. セグメント間の目違い、段差が少ない。			
□	□	15. ボルトの締め付け状況が良い。			
□	□	16. 全体的な美観が良い。			
14.維持工事 (清掃工、付属物工、 除雪、応急処理等)	□	□	1. 小構造物等にも注意が払われている。		
			2. きめ細かな施工がなされている。		
			3. 既設構造物とのすりつけが良い。		
			4. 安全性、維持管理等への配慮がされている。		
			5. 全体的な美観が良い。		
15.修繕工事 (橋脚補強、耐震補 強、落橋防止等)	□	□	1. きめ細かな施工がなされている。		
			2. 構造物の表面状態が良い。		
			3. 端部の仕上げが良い。		
			4. 既設構造物とのすりつけが良い。		
			5. 全体的な美観が良い		

工事成績採点表の考査項目の考査項目別運用表(土木工事編)

[記入方法]該当項目を「■」にする。

(検査員)

考査項目	細別	対象項目	評価項目	評価対象項目	評価方法
3.出来形及び出来栄	Ⅲ.出来栄え 16.機械設備工事	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	1. 主設備、関連設備、操作制御設備が全体的に統制されており、運転操作性が良い。	評価値(%)=評価項目数/対象項目数  対象項目が2項目以下……c 評価値が90%以上……a 評価値が80~90%未満…b 評価値が60~80%未満…c 評価値が60%未満……d
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	2. 機器の据付けが適切になされている。	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	3. 土木構造物、既設設備等とのとりあいが良い。	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	4. 溶接、塗装、組立にあたって、細部に渡る配慮がなされている。	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	5. 操作、保守点検等の容易さを確保するための配慮がなされている。	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	6. 全体的な美観が良い。	
	17.電気設備工事 (照明設備・受変電設備・その他類似工事を含む)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	1. 機器の据付けが適切になされている。	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	2. 安全性の確保、環境及び維持管理等への配慮がなされている。	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	3. 動作状態において、電氣的及び機械的な異常が無く、総合的な機能及び運用性が良い。	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	4. ケーブル等の接続方法及び収納状況が適切である。	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	5. 操作、保守点検等の容易さを確保するための配慮がなされている。	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	6. 全体的な美観が良い。	
	18.通信・弱電 ・その他類似工事	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	1. 主設備、関連設備等にきめ細やかな施工がされている。	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	2. 安全性の確保、環境及び維持管理等への配慮がなされている。	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	3. 動作状態において、電氣的及び機械的な異常が無く、総合的な機能や運用性が良い。	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	4. 当該設備および関連設備が全体的に協調および統制され、総合的な性能向上への配慮がなされている。	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	5. 操作、保守点検等の容易さを確保するための配慮がなされている。	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	6. 全体的な美観が良い。	

工事成績採点表の考査項目の考査項目別運用表(土木工事編)

[記入方法]該当項目を「■」にする。

(検査員)

考査項目	細別	対象項目	評価項目	評価対象項目	評価方法
3.出来形及び出来栄	19.水道工事	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<b>【共通】</b> 1. 通りがよい。 2. コンクリート構造物にクラックがない。 3. 仕切弁および消火栓等の天端と路面とのすりつけが良い。 4. 残土等は適切に処理されている。 5. 周辺環境等に配慮された、施工がなされている。 6. 関連する付属構造物、施設の据付等仕上がりがよい。 7. 仮設工及び舗装復旧等が現地状況を十分把握され施工されている。 <b>【管路】</b> 8. 管路に補修がない。 9. 継ぎ手が確実になされている。 10. 管路の据付けが適切になされている。 11. 全体的な美観が良い。 <b>【水管橋】</b> 12. 溶接、メカ接合に均一性がある。 13. 塗装に均一性がある。 14. 塗装の補修箇所がない。 15. 仕上がりが良く、関連工事との取り合いも良好であった。 16. 全体的な美観が良い。 <b>【シールド】</b> 17. RC セグメントの割れ、欠けがない。 18. 継ぎ手面の防水が確実になされている。 19. セグメント間の目違い、段差が少ない。 20. ボルトの締め付け状況が良い。 21. 全体的な美観が良い。	評価値(%)=評価項目数/対象項目数  対象項目が2項目以下……c 評価値が90%以上……a 評価値が80～90%未満……b 評価値が60～80%未満……c 評価値が60%未満……d
	20.上記以外の工事又は合併工事	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	1. その他 理由:( ) 2. その他 理由:( ) 3. その他 理由:( ) 4. その他 理由:( ) 5. その他 理由:( ) 主たる工種の考査事項で考査し、最大考査項目は5項目とする。	